

ばん
まんが版

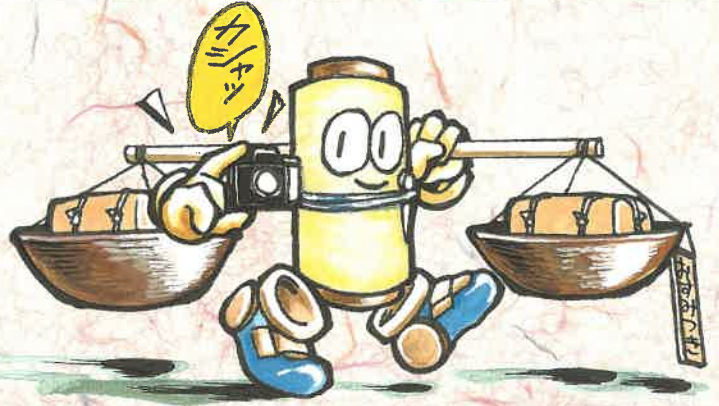
すぎ はら がみ れき し
杉原紙の歴史

まんが版
杉原紙の歴史

加美町郷土学習教材



● 兵庫県 加美町



加美町
〒679-1292 兵庫県多可郡加美町豊部240
TEL 0795-35-0080



まんが制作者

ひろさわ しげあき (自画像)

杉原紙復元と同じ1970年12月生まれ。

24歳のとき、プロのまんが家デビュー。

1999年に加美町と加美ふるさと塾が
実施した「杉原紙ものがたりマンガ
全国コンクール」で特選受賞。

兵庫県姫路市在住。



まんが版

すぎ はら がみ れき し

杉原紙の歴史

まゆみ
真由美
ちゃん



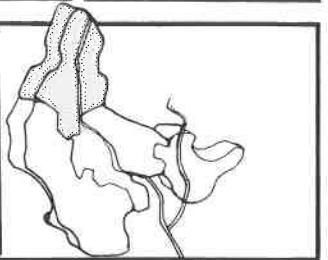
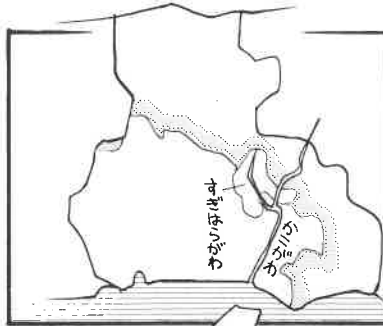
こうぞう
浩三くん

すぎ はら がみ
ドクター杉原紙ジュニア

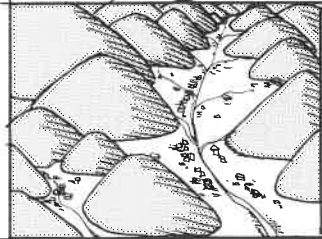
プロローグ..
杉原紙研究所

兵庫県の
東はりま地方を
流れる加古川...

その加古川の支流に
杉原川があります。



杉原川の
上流にあるのが
多可郡加美町...
その北部は
「杉原谷」と
呼ばれています。



そして、その
杉原谷に
いま...

みなさん、
こんにちは。

きょう
わたしたちは
杉原紙の歴史を
学ぶために
杉原紙研究所に
来ています。



この研究所は、
一九九六年に
〈道の駅R427かみ〉が
建てられたので、

川の東に
移転した
のだそう
です。

それでは
さっそく
おじゃまして
みましょう。



やあつ！
よく来たね！

ワシが案内役の
ドクター杉原紙じゃ！



あ...あんな
やくの...

怪人
杉原紙...

「ドクター」!



さて、この研究所では
紙すきの実演や
いろんな資料の
展示なんかも
おこなっているのだが...

今日はとくべつに
杉原紙の歴史を
体験させて
あげよう!



おおーっ!

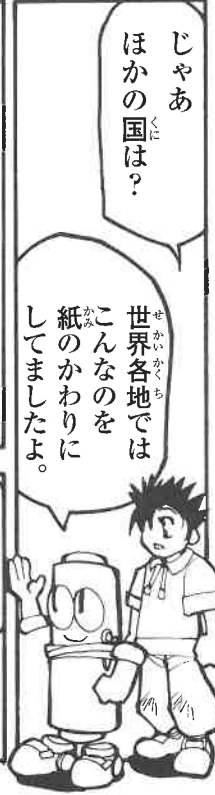
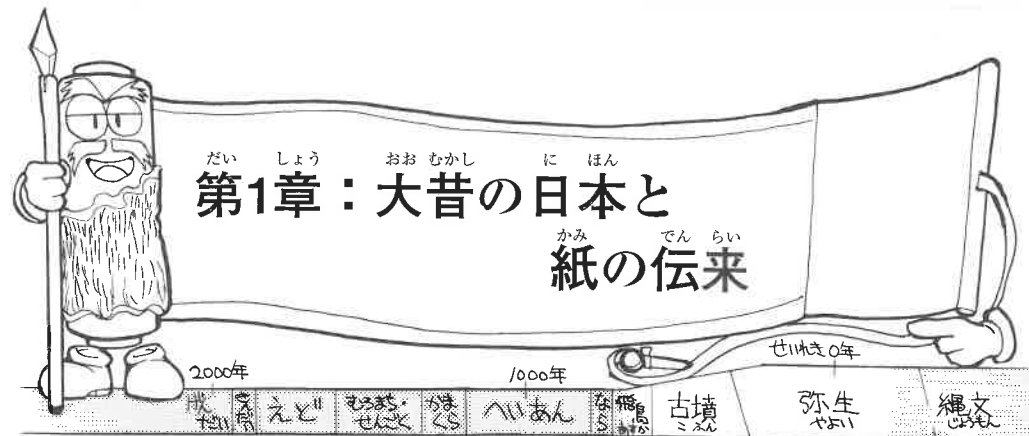
...って
これ、何ですか?

へいまぶうの
絵巻物じゃよ。
読んでいくだけで
杉原紙の歴史が
リアルに体験
できるのじゃ。

ふーん...

こうしてふたりは
〈杉原紙の歴史〉をめぐる
長い旅に出かけるのです...



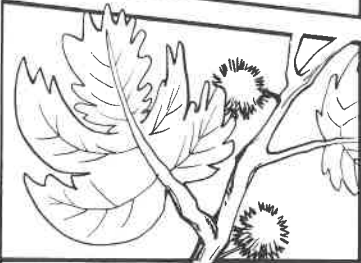


中国で、世界初の紙が発明されたのは、ちょうどそのころでした。

さいしよは麻のポロをリサイクルして紙をすいていました…



いつのことがはつきりした年代はわからないのじゃ。



西暦一〇五〇年ごろ中国の技術者たちがカジノキの皮を原料にしての紙すきをためしてみたところ…

木の皮をすいた紙は麻のポロの紙よりもそうとう丈夫です！これで実用品になりますよ！

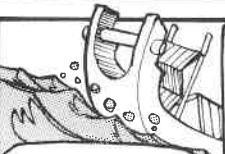
もうこんな重い板も高価な絹も使わずにすみますね。



うむっ。

で…紙が日本に伝わったのはいつなの？

紙そのものは貿易を通じてかなり早くから伝わっていたでしょうが…



しかし「紙」というものの作り方が伝わったのは五〜六世紀ごろではないでしょうか？



そうですねえ…



「渡来人」によつてです。

四〜七世紀、中国大陸や朝鮮半島の政治状況が不安定になることがありました。



渡来人は、海のむこうの文化や技術をおみやげにして日本の政治の重要な地位につきあたらしい文化を作り出しました。



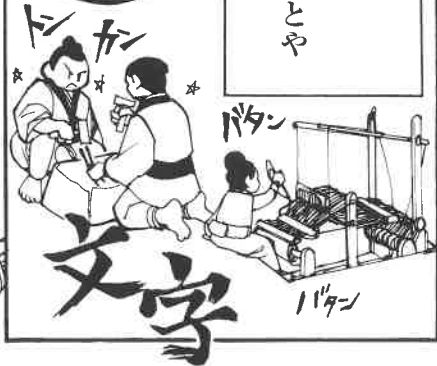
その混乱をさけるために日本へやってきた人々を「渡来人」といいます。



おみやげってどんな？

そう、たとえば…

絹おりのもの作り方やかじの技術、丈夫な焼き物を作ることや漢字を使うこと…



新しい宗教の「仏教」…



そして、

紙すきの技術です。





この戦いで物部はほろび、蘇我氏は仏教をうしろだてにして権力をほしのままにしましたが…

寺をつくれ!

お経を写すのだ!

仏像をつくれ!

六四五年、その蘇我氏も朝廷にほろぼされ…



天皇中心の国づくりが行われるようになりました。

中臣鎌足

豪族の土地を没収し、すべての土地と人民を、公のものとする!



なにしているの? どうして?

紙の作り方を おしえてくれるんだとよ。

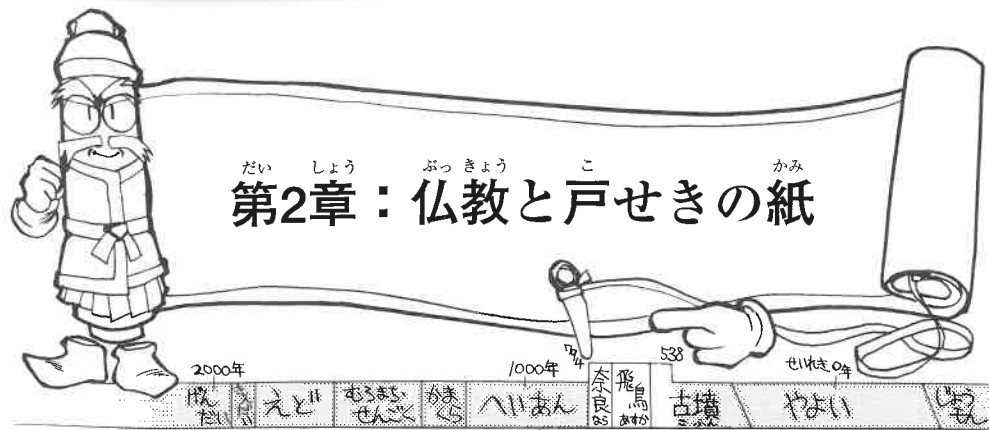
戸せきを つくるのだ そうだ。



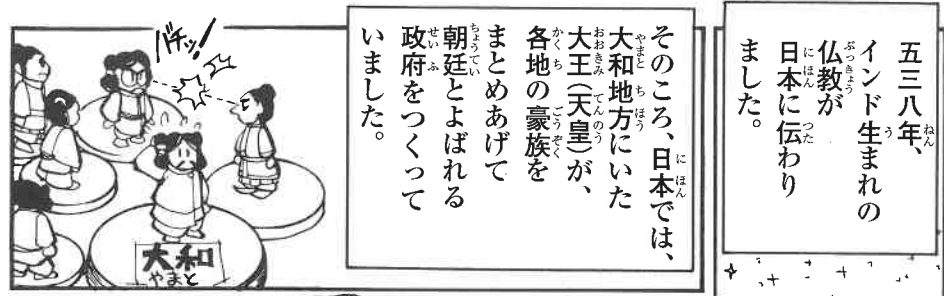
こせき…

人々の住所と名前を、紙に書きとめたものだ。

では、はじめるぞ。

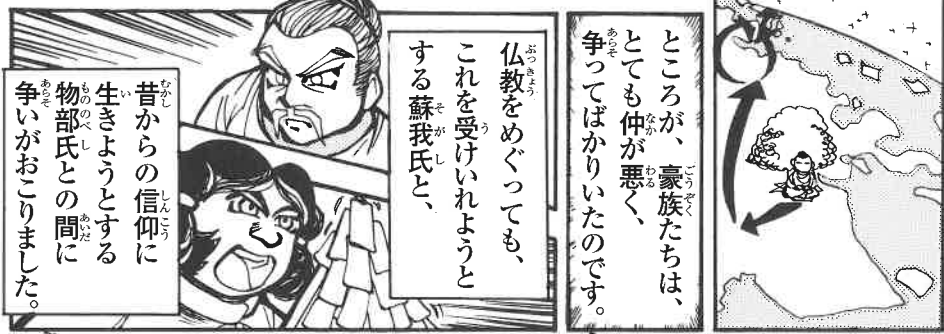


第2章：仏教と戸せきの紙



五三八年、インド生まれの仏教が日本に伝わりました。

そのころ、日本では、大和地方にいた大王(天皇)が、各地の豪族をまとめあげて朝廷とよばれる政府をつくっていました。



昔からの信仰に生きようとする物部氏との間に争いがおこりました。

ところが、豪族たちは、とても仲が悪く、争ってはかりたいのです。



朝廷風・紙のつくり方

まず、原料を
むして皮をほぐ。



その後、
黒い皮を
けずりとり、

白い皮を
灰汁の入った
なべの中に入れて
煮るのだ。

よく煮えたら
ザルにうつして
流れる水にさらし、
よけいなゴミを
とりのぞく。



そして、せんいを
短く切るのだ！



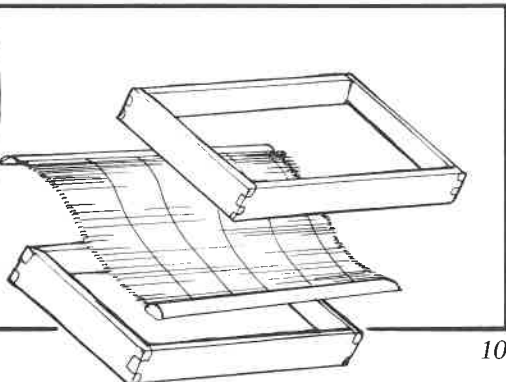
せんいを
よくたたき、

つぎに



こまかくなつた
せんいを
水そうにいれ、

よーく
かきまぜる！



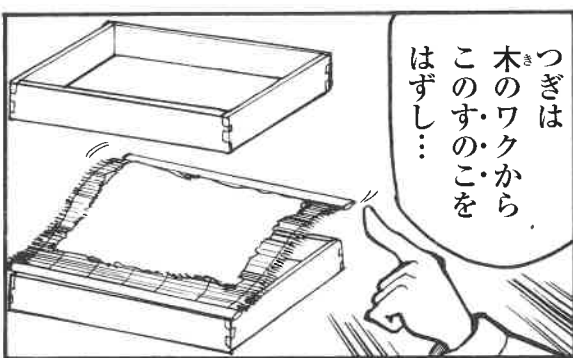
木のわくで
すのこを
はさみ、

せんいのとけた
水をそとすくう。



かるくゆすって
水そうにかけたした
棒の上におき...

水分が
おちるのを
まつ。



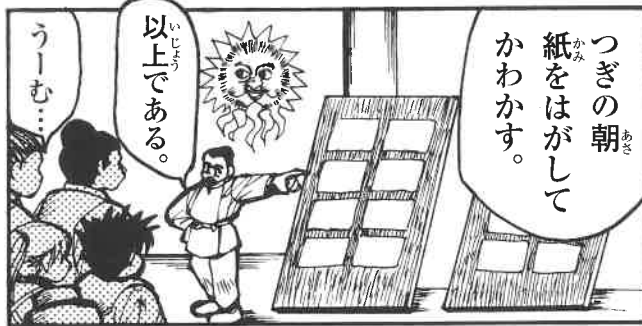
つぎは
木のワクから
このすのこを
はずし...



板の上に
しめった紙を
かさねてゆく。



あるていど
かさねたら、
水切りのために
一晩おいておく。



つぎの朝
紙をはがして
かわかす。

以上である。



こうして
中央で学んだ
役人たちは、
各地方に紙の作り方
を広めに行きます。

租(そ)

……公の田でとれた
コメの3%を
国府におさめる。

庸(よう)

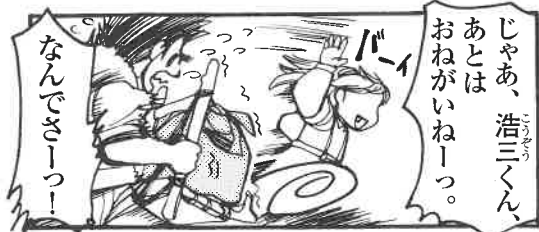
……都で10日間
タダばたらきするか、
そのかわりの布をおさめる。

調(ちよう)

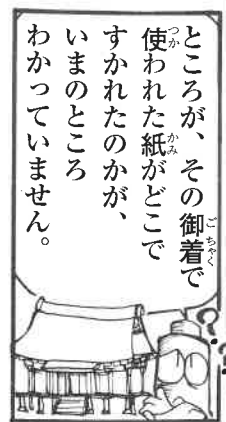
地方の特産品を
都におさめる。



なにこれ?
税です。
ぜい?!



13 ※藤原京...694~710年までの都。いまの奈良県橿原市。

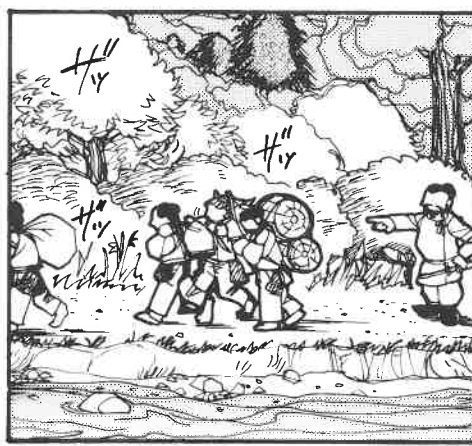


かれらがめざすのは
各地方の国府
(朝廷の出張所)
です。

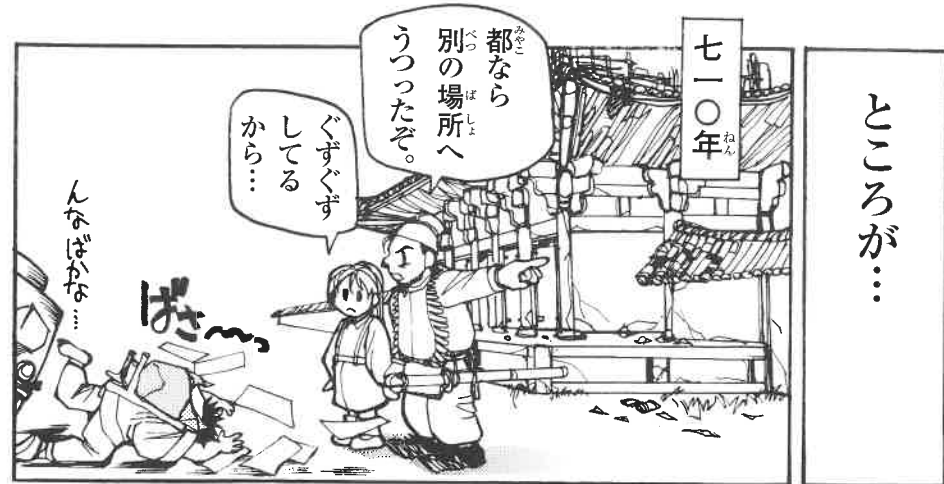
はりま地方の
国府は、
いまの御着
あたりに
ありました。



おそらくは、
きれいな水と
紙の原料の
「こうぞ」が豊かな
川の上流地点で
紙がつくられた
のでしよう。



ところが…



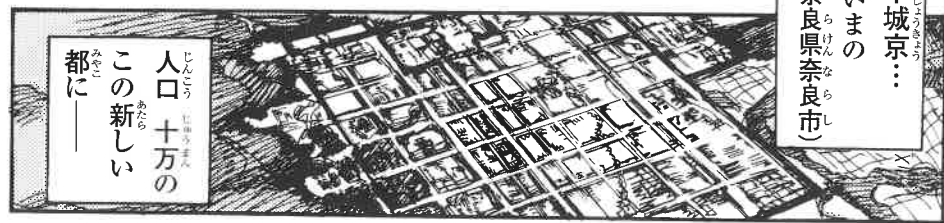
都なら
別の場所へ
うつったぞ。

ぐずぐず
してる
から…

んなばかな…

七一〇年

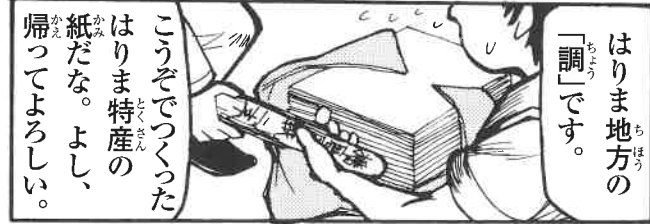
平城京…
(いまの
奈良県奈良市)



人口 十万の
この新しい
都に



日本中から
庸・調が
おさめられて
きています。



はりま地方の
「調」です。

こうぞでつくった
はりま特産の
紙だな。よし、
帰ってよろしい。



次!

ふー。

ねえ、
せつかくだから
奈良の都を
見物しない?

では、少
あんないします。

この時代は、
仏教の力が
とても
強かった
時代です。

大仏や寺が
つくられたり、
お経が写されたり…



こういう
ものまで
つくられ
ました。
なんだ、
それ?



〈百万塔ダラニ〉
15cmの木の塔のなかに、
たて6cm、よこ17~50cmの
まきものがはいたもの。

この巻き物を
木版で百万部も
刷ったのです。

つかわれた紙は
まんが週刊誌の
百五十四万ページ分!

え…
それを全部
手作りで?



読むのだって
たいへんなのに
…

この都にも、紙すきの
専門家が四人と
パートタイマーが五〇人
いたけれど…
それでは間に合わずに
日本中から紙を
集めたってわけか。
あら、あそこで
お経を写して
いるわ…

写経には、主に
麻の紙が
使われました。



麻の紙は丈夫ですが、
さらさらして
書きづらいので、
木づちで打って
なめらかにしていました

そんな
時…
新しい
技術が
開発
された
のです。

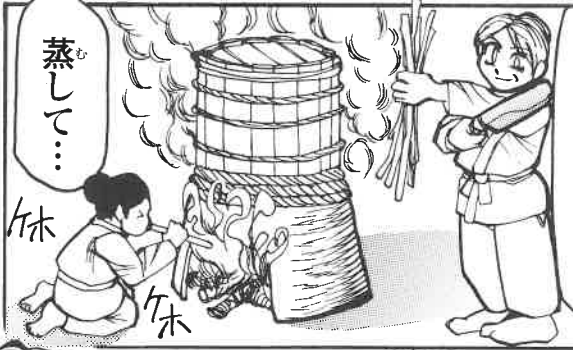
新しい紙の作り方

それでは我々
杉原谷の者が、
新しい紙の
すき方を
お教えします。



まず雑木林に入り、
原料のこうぞを
取ってきます。

それをこれぐらいの
長さに切りそろえ…



蒸して…



皮をはぎとり
日に干します。

その皮を川で
ふやかして…



外側の黒い皮を
けずって
流し落とし
日に干します。

白い皮を水でふやかし、
灰汁の中に入れて溶かし
せんだけにします。



そのせんいを
流れる水に
ひたして
ゴミをとりまします。

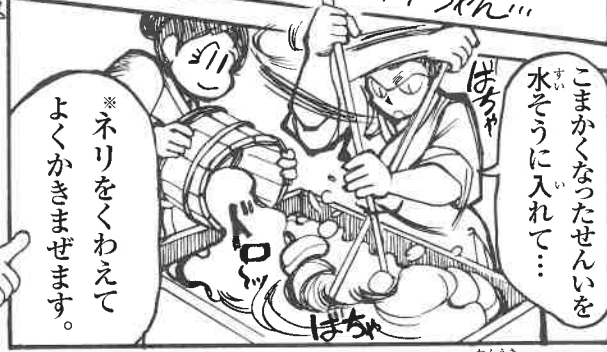
さらされて
白くなった
せんいを、



棒で

たたきつぶし—

こまかくなったせんいを
水そうに入れて…



※ネリをくわえて
よくかきまぜます。

※ネリ…ノリウツギ、トロロアオイなどの粘液。

木のわくで
すのこをはさみ
せんいのとけた
水をすくいあげ
まんべんなく
いきわたらせます。



これをくりかえすと
ぶあつい紙ができる。

あれ？

都では、このあと
せんいを小さく
切ったのに…

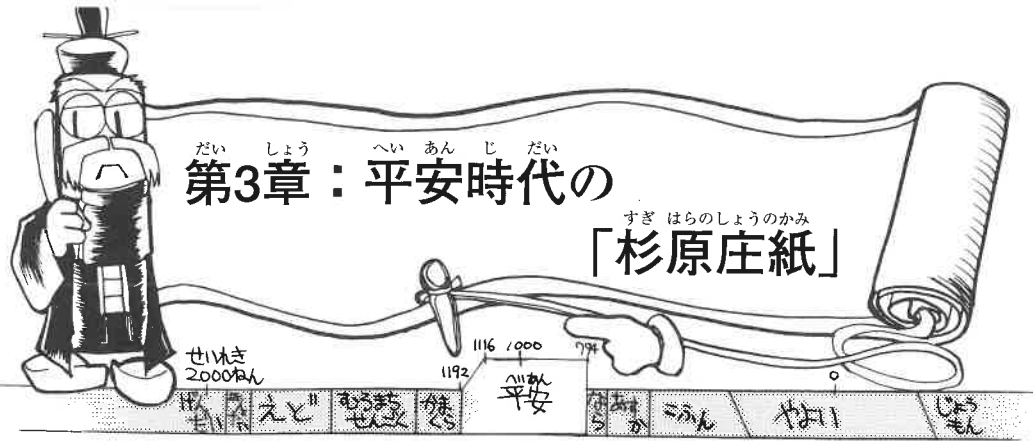


ネリも
入れて
なかったよね。

そうそう。

そして
もう一度
せんいのとけた
水をすくって、
前後に
ゆりうごかし
水を捨てます！





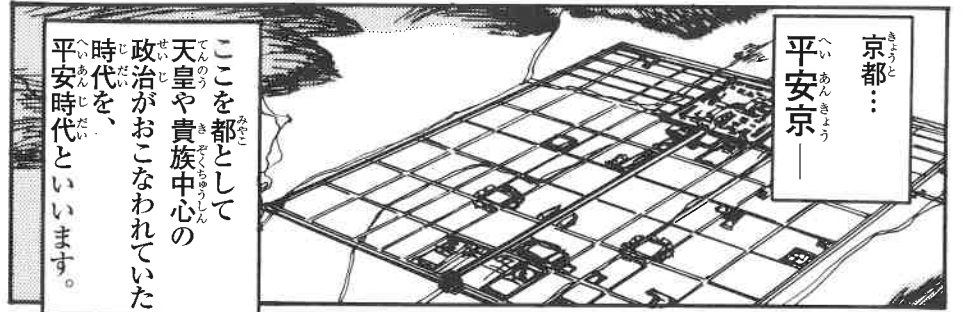
第3章：平安時代の

「杉原庄紙」

せいしき 2000ねん

1116 1000 797
1192

平安



京都…
平安京

ここを都として
天皇や貴族中心の
政治がおこなわれていた
平安時代といえます。

その平安京の
すこし北のところ、
紙屋川のほとりに、
公の紙をつくる
場所がありました。



まあまあ、
そんなに
かんげき
しなくて
も…

いやあ、
最近
原料が不足
ぎみでね。

どうして？

これを
紙屋院と
いいます。



いや
そもそもは
田も人々も
公のものだった
わけだろう？



でも、それだと
農民のやる気が
出なくてね…



税が
重いよ。

逃げたい
よ！つ。

わかるわー
そのキモチ…



「新しく
開いた土地は
いつまでも
自分のものにして
いい」という法律を
出したんだけど、



それで
「庸」調が
なくなる
わけじゃ
ないからさ…



ちかごろは
公の田んぼから
お寺や神社の私有地に
逃げこむ人が
多くてね。

寺社の私有地は
朝廷に税を
おさめなくても
いいからだよ。

朝廷も寺社には
手をだせないのさ。

※国司…朝廷から各地方におくられた役人。



どうして？

だから、こういう
紙の原料を都へ
もつてくる人が
少なくなつて
きてるんだよお！

たいへん
ねえ…

とうぜんという
気もするが…

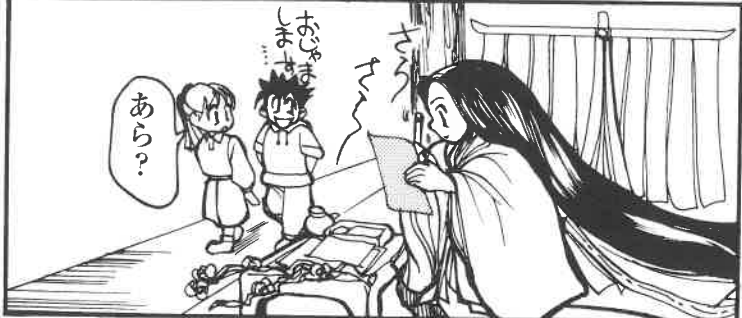


時は流れて
西暦一〇〇〇年



ヨーロッパで
人々が
新しい千年紀を
いろうころ:

日本では、
貴族たちが
みやびやかな
生活をしていました。



その紙は？

これは斐紙よ。
ガンピが原料の
うすくて
なめらかな紙なの。
ひらがなを書くのに
ぴったりだわ。

みやびやかな
色にそめて、
二枚かさねて
つかうのよ。



まあ、
キレイ...

それは私への
恋文ですか？



だれ？
あ、
道長
さま...



藤原道長

なかとみのかまたり
中臣鎌足の
しそんにあたります。

「かまたり」じゃ。

道長さんも
斐紙をつかって
いるんですか？

いや、
斐紙を
使うのは
女の人だよ。

男が使うのは、
〈檀紙〉さ。



だんし？

女子？

檀紙...
こうぞを
原料とした紙。

厚くて
ふっくらしています。



すり
すり...

それでは
私は
これで...

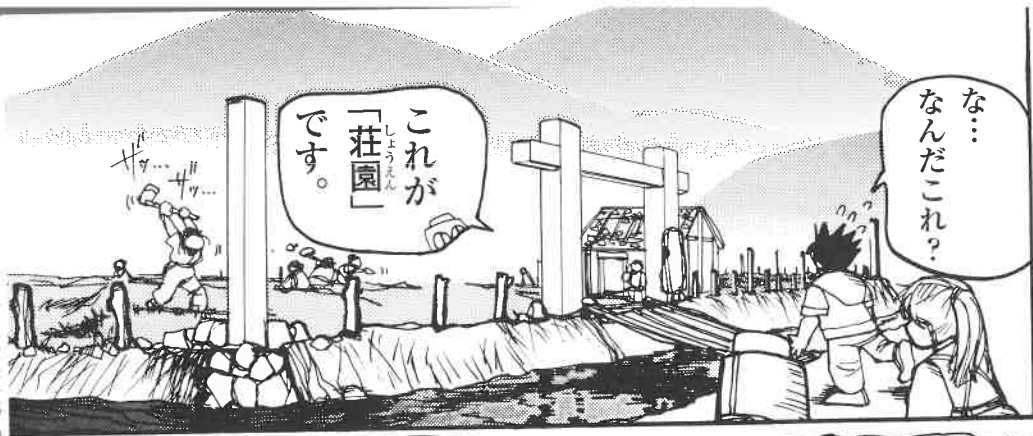


すいぶん
モチてるな。

ちからが
ありますからね。

ちから
力？





これが「莊園」です。

な…なんだこれ？



藤原氏は、天皇家と親せきになることで絶大な権力を手にいれたのです。

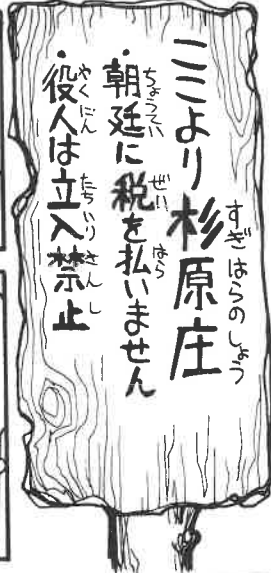
そして、それをいいことに法律を変えて自分たちの土地を莊園にしました。

寺や神社ならともかく…



「庄」といふのは、莊園のことです。

ここも莊園になっちゃったのね。



さぞはりの「庄」ニより杉原庄 朝廷に税を払いません 役人は立入禁止



地方の豪族たちは税のがれのため、新しく開いた土地を藤原氏や寺社にプレゼントしました。

えっ？ たただあげちゃうの？



当然よ。朝廷からおくられてくる国司は自分のふところをあたためるためにきまり以上の税をおさめさせてたわ。



そこにくらべればここは税が少なくて極楽だわよ。

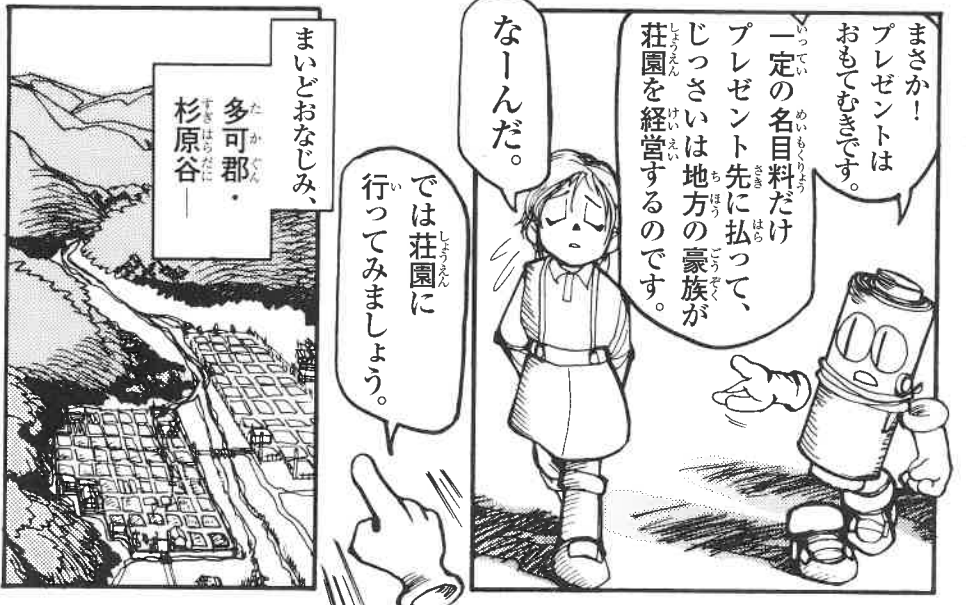
運んだのはほくだってば！



そうでなくても朝廷の税は重いよ。

都ではたらかせたり、国府ではたらかせたり、「不作にそなえる」って口実でアワをおさめさせたり、あまったコメをむりやり高利でかしたつたり…

5割10割はあたはえ

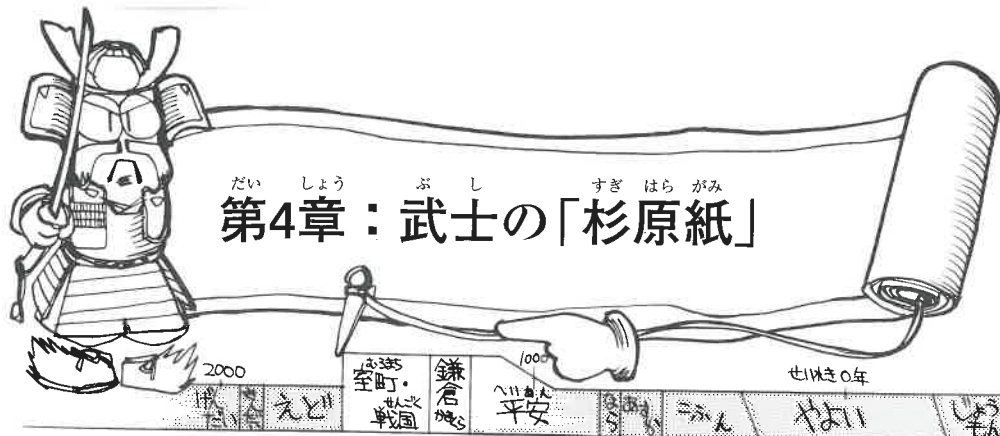


まさか！プレゼントはおもてむぎです。一定の名目料だけプレゼント先に払って、じつさいは地方の豪族が莊園を經營するのです。

なーんだ。

では莊園に行ってみましょう。

まいどおなじみ、多可郡・杉原谷



それらのあらそいで
 剣をふるって勝った
 平氏がのしあがってきます。

一一五六年
 藤原氏・天皇家の
 内部で
 あらそいがおこり

崇徳上皇
 後白河天皇

ふじわらのよりなが
 藤原頼長(忠通の弟)

ふじわらのただみち
 藤原忠通

ほうげんらん
保元の乱

あ、
 このひと
 杉原紙を
 もらった
 ひとだ。

へいじらん
平治の乱

一一五九年にも
 あらそいが
 おこって…

源義朝
 平清盛
 (義朝の子)頼朝(13才)

平氏のリーダー
 たいらのきよもり
平清盛

力のある貴族が
 思いのままに政治を
 おこなう世の中は、
 多くの人々に
 強い不満を
 もたらししていました。

次は
 何して
 遊ぼう
 かな。

このくさった
 都にいても
 出世はでき
 ずじまら。

いつそのこと
 都をすてて…

有名な
 武士の
 集団に、
 「平氏」と、

かれらは、
 都から遠くはなれた
 ところをうつりすみ
 土地を切り開きました。
 やがてかれらは自分の
 土地を守るため、
 武器を手にとるように
 なりました。

「武士」の
 たんじょうだーっ！

「源氏」が
 あります。

おー

その平氏の中に
 さきほど出てきた
 藤原忠実・忠通、
 そして(忠通の息子の)
 基実につかえた者が
 いました…

平信範です。

杉原庄の
 ようすをしらせる
 手紙が
 とどきました。

ちなみに
 清盛の
 つまの
 おいで。

それによると



さて、その手紙の裏に
日記が書かれた
一一六七年、
そのころ杉原庄は

いえ、
杉原庄にかぎらず
多可郡の荘園は、
そのほとんどが
平氏の支配下に
おかれていました。



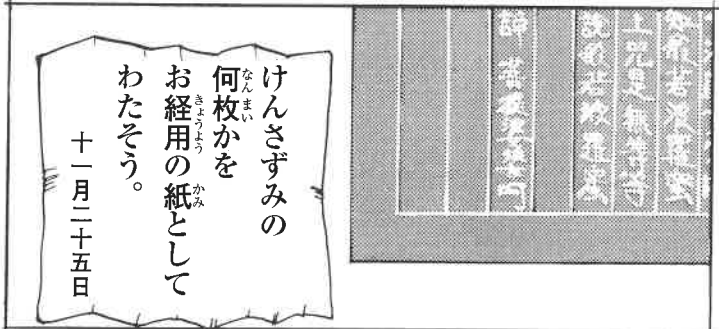
今年の杉原紙は
品質が最悪だと
現地のものが言うので
半分以上を
おくりかえした。

最悪です。

しほん...



あっ！
「杉原庄紙」じゃなくて
「杉原紙」って書いてるわ。



けんさずみの
何枚かを
お経用の紙として
わたそう。
十一月二十五日



これこそ「杉原紙」の
文字が最初にあらわれた
記録なのです！



平氏を倒せ！

後白河法皇

源氏のリーダー
源頼朝



平清盛は
貿易をさかんに
したり、いいことも
たくさんしたの
ですが...



平氏は
奈良の寺を
焼いたりしたので
すっかり人々の
信頼を失って
しまいました。



原料が
入ってこないの
再生紙をすいて
いましたとき。

まあ、
エコロジーね。

そうなの
かな！



おごる平氏は
ひさしからず

一一八五年、東国で
力をたくわえていた
源氏によって
平氏は滅ぼされます。



この手紙が書かれたのは
おそらく一一六五年
ごろ...

杉原紙を
お経に？

うむ。紙を
あいろいろか
むらさきいろに
染めて...金色の絵の具で
文字を書いていくんだ。

無視
しないでよ！
ごめん
ごめん。
さあ、手紙を
うらがえてして
日記帳にしよう。

一一九二年

源氏のリーダー
源頼朝は、
鎌倉に
幕府
（＝武士の政府）を
ひらきました。

鎌倉時代の
はじまりだ！



その七年前の
一一八五年

頼朝は各地方に
「守護」や「地頭」を
おくりこみました。



平氏に乱された
各地方の
平和を守り、

平氏にうばわれた
荘園を元にもどし
税をおさめ
させる…

という名目で…

<守護>に
各地方に
<地頭>に
各荘園に

実際に税をとりたてる
権利を、地頭に
あたえたのです。

荘園の持ち主にも
おさめる税を
よこしな！

いくらかは
自分のふところに
いれるけどよ！

なんて乱暴な
やつらじゃ。

泣く子と地頭には
勝てん…

つまり荘園の人は、
荘園の持ち主にも
地頭にも税を納めないとい
けなかったわけ
ですね。

うわっ…



一一一九年、源氏の一族は
武家グループのあらそいに
まきこまれて
三代で絶えてしまいます。



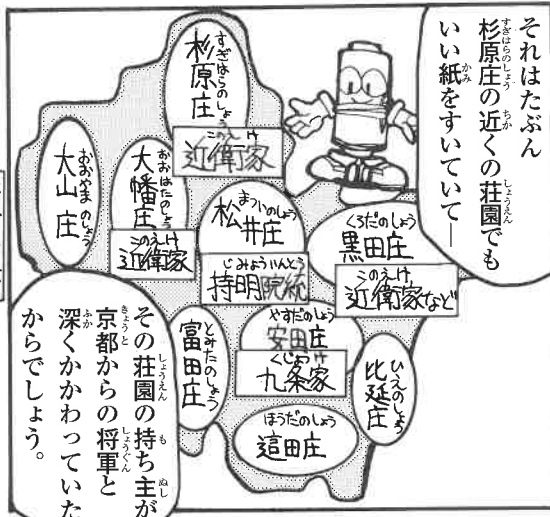
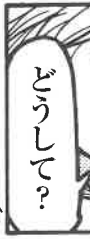
そこで、頼朝の親せきの
北条氏が、「執権」という
地位について幕府を
うごかすことになりました。

將軍の位は
どうなるの？

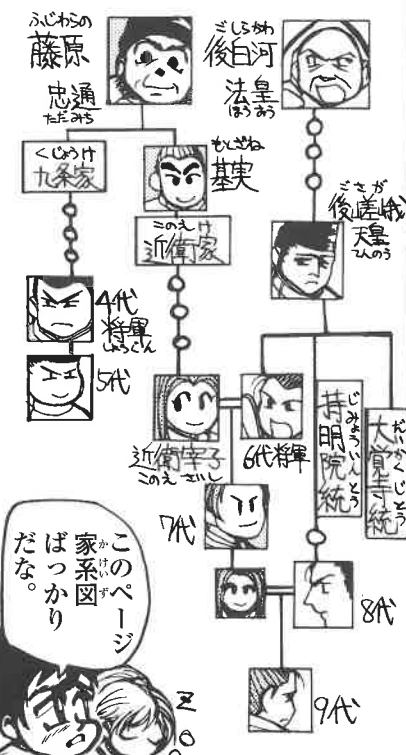
京
京都から

名前ばかりの
將軍をむかえ
いれました。

記録では、この
一一一九年から
「杉原紙」が
（鎌倉で）流布
しはじめた」と
あります。



それはたぶん
杉原庄の近くの荘園でも
いい紙をすいていて…



このページ
家系図
ばかり
だな。



まいど！
はりまの
商人です！

商人に頼んで
もってきて
もらいました。

紙がぜんぜん
たりないよ。

我々もまげずに
お経を
つくるぞーっ！

そして 和歌山の
高野山でも



いつぼう奈良では

平氏に焼かれた
お寺をたてなおし、
灰になってしまったお経を
よみがえらそうと
していました。

えっ？
お経つて
……

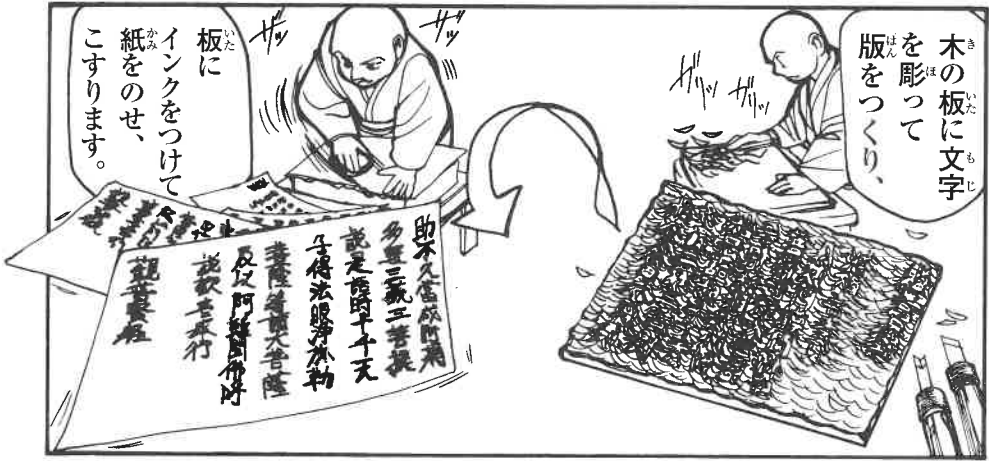
まさかまた
手でひとつひとつ
写していくの？
いいえ
印刷したのです。



高野山の近くでも
ぶあつい紙なら
すかれていたのだ
けどね……

両面に印刷し
ふたつおりにして
せなかをのりで
とめるのだ。

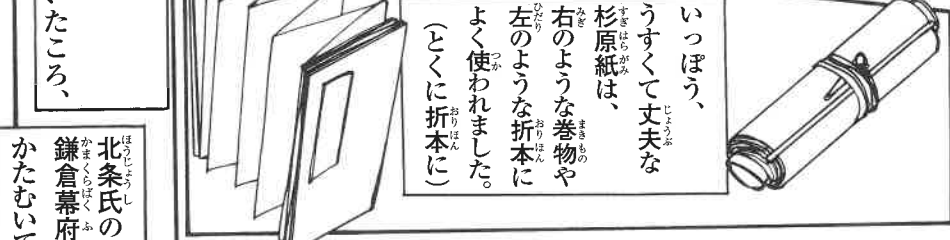
こんな風に
仏教の世界が
熱気につつまれていたころ、



木の板に文字
を彫って
版をつくり、

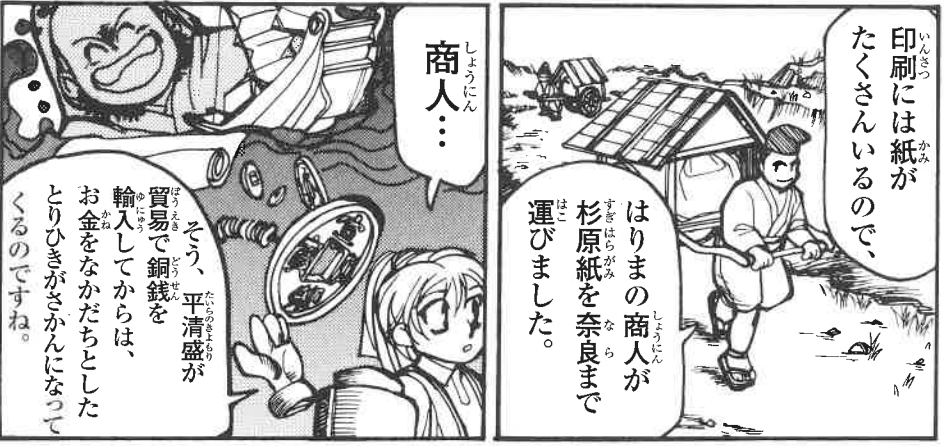
板に
インクをつけて
紙をのせ、
こすりませ。

物不空菩薩
多羅三藏菩薩
説法華經十卷
千佛法華經
普賢菩薩
及阿彌陀佛
説教書奉行
観音菩薩



いつぼう、
うすくて丈夫な
杉原紙は、
右のような巻物や
左のような折本に
よく使われました。
(とくに折本に)

北条氏のうこかす
鎌倉幕府は、しだいに
かたむいてきていたのです……

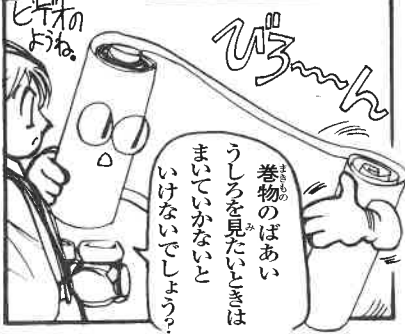


印刷には紙が
たくさんいるので、

はりまの商人が
杉原紙を奈良まで
運びました。

商人……

そう、平清盛が
貿易で銅銭を
輸入してからは、
お金をなかだちとした
とりひきがさかんになっ
てくるのですね。



巻物のばあい
うしろを見たいときは
まいていかないと
いけないでしょう。



でも折本だと
見たいところが
すぐひらく！

おお！
べんりーっ！



14代・執権
北条高時



次はなに
あそぼう
かな

幕府の有力者
足利尊氏

武士が北条家の
身内びいきに
いらだち、
農民が重い税に
苦しんでいた
そんな時

後醍醐天皇が
幕府に対して
反乱を
くわだてます。



北条を倒し
すべてが公の
ものだった
昔にもどろう!

この呼びかけに
多くの武士が
応じ、
一三三三年
鎌倉幕府は
ほろぼされます。



しかし後醍醐天皇は
公家中心の政治を
行ったため、武家の
反感をかいました。



足利どの! こうなったら
あなたがリーダーになって
新しい武士の世を
つくってください!

それは
天皇に
はむかえと
いうことか!?

なに、
こちらは
別の系統の
天皇をたてれば
すむことです。



赤松円心...
赤松村
出身の有力者

戦いは、
持明院統と
足利尊氏がたの
勝利におわりました。



今日から
わしは
はりまの
守護だーっ!

一三三六年、
足利尊氏は
京都に幕府を
ひらきます。



室町時代の
はじまりだよ。

これにより
武家文化と
貴族文化が
まじりあいます。

われわれは
鎌倉の武士です。
京都から將軍を
むかえるように
なつてから
杉原紙が流布
しはじめました。

幕府が
京にうつつたので
われわれも
おともします。

京の公家は
(公文書として)

男は
檀紙、

女は
斐紙

を、使つて
いました。



奈良や高野山では、
お経に 高野紙や
杉原紙を使いました。



ちかごろは
京の寺でも
使われている
ようです。

しかし鎌倉から
武士がやってきて
からは、
公文書にも
杉原紙を
使うように
なりました。



最近では武家も公家も
おぼうさんも、おなじ
生活スタイルになつて
しまつたわね。



でも、やつぱり
杉原紙は
武士の紙だよ。

なんといいても
うすくしなやかで、
ねだんも檀紙
よりは安いからな。

ところかわって
こちらは
多可郡の
松井庄です。



もともとは
後白河法皇の
ものだった
この莊園は、

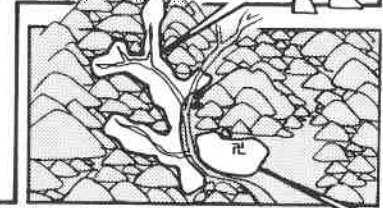
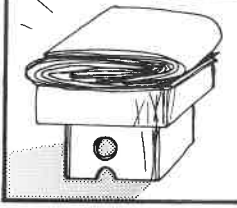


めぐりめぐって
持明院統に
うけつがれますが、

この松井庄が
送っていた税は
紙が四〇〇〇帖!

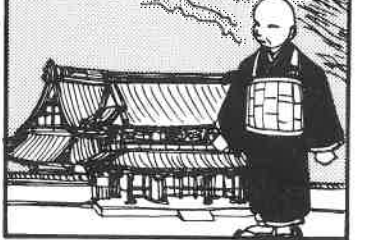


西半分は
赤松氏の
けらいが
おさめ、
京都の將軍に
公用紙を
送っていました。



というと
二〇万枚!?

そして
東半分は
瑞光寺という
寺がおさめ!



紙を
京の町で
売ったり、

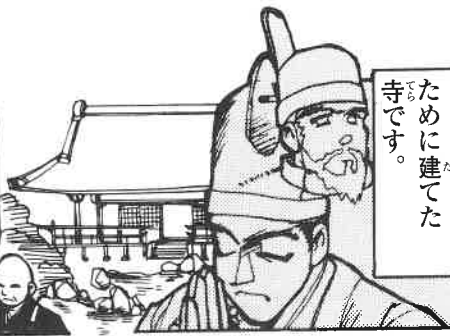


天竜寺へ
送ったり
していました。



天竜寺?

天竜寺は、
足利尊氏が
後醍醐天皇の
めいふくをいのる
ために建てた
寺です。

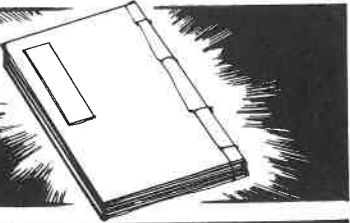


松井庄の
瑞光寺は、
京都の天竜寺に
支配されて
いるのだ。

ややっこしいね。

で...その
天竜寺に
送って
どうするの?

やっぱり
お経の本を
印刷するんじゃ
ないのかな?

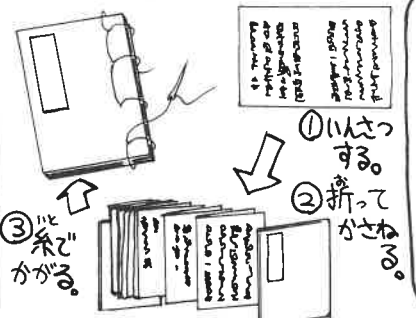


なんだか
ふつうの本
みたい
だけど...



そう、
これは
「ふくろとじ」という
本の作り方だね...

紙をふたつおりにして
糸でかがるんです。



折本みたいに
ページとページを
のりづけしなくて
いいんだね。

品不足に困っている
高野山では
近くの村で似たような
紙をすいているほどだ。



すこいわね!
杉原庄や
松井庄の人は
大よろこびだわ。そかな!



杉原紙は
折り目が
ぶあつく
ならないので
大人気なのだ。

税の
とりたてが
きびしすぎ
るぞ！



はりま全域で
農民たちの
暴動が
おこりました。

はりまの守護
赤松満祐
(円心のひ孫)



おまえたち！
守護に
さからうのか！



なになに！
そもそも
守護ってのは
みだれた地方の
平和を守るのが
仕事じゃないの！
なにに今は
地頭を手下にして
荘園の税の半分を
よこりしている！

このはりまから
サムライは
出ていけ！



きめあめ！
う...

ええい、かまわぬ！
武器をふるつても
静めろ！

赤松満祐は
この暴動をしずめ、
自分の力を
みせつけますが、
将軍は



室町幕府の
弱点は、守護の
力ばかりが
強いことだ...

6代将軍
あしかが よしのり
足利 義教

と、考え、

有力な守護の家に
うちわめめをおこし
力をよわめて、
とりつぶそうとします。

次のターゲットは
われわれか...!?



一四四一年六月

赤松満祐は
京のやしきで
将軍を暗殺しました。

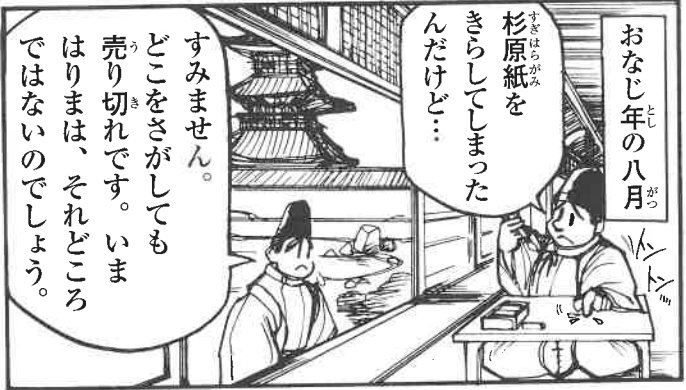


嘉吉の乱

よし！
はりまに
帰るぞ！

おなじ年の八月

杉原紙を
さらしてしまった
んだけど...



すみません。
どこをさがしても
売り切れです。いま
はりまは、それどころ
ではないでしょう。

おなじく九月...

幕府の送りこんだ軍勢が
赤松満祐の一族を
ほろぼしました。



山名 持豊

こののち、はりま地方は
山名氏の支配する
ところとなりました。

しかし、嘉吉の乱の
おわりは、あらたな戦乱の
はじまりにすぎません
でした...



うわ...

一四六七年、
將軍のあとつぎ
あらそいが、
ある守護の家の
うちわもめや
山名と細川の
あらそいを
まきこんでの
大いさになりまし
た。



せいぐん たいしょう
西軍の大將
やま な もちとよ
山名 持豊

おう じん らん (1467年~1477年)
応仁の乱

とうぐん ないしょう
東軍の大將
ほそ かわ かつもと
細川 勝元

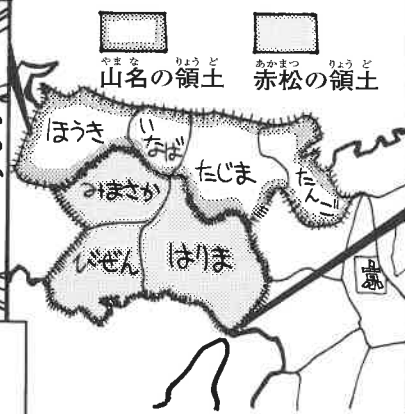


あかまつ まさのり
赤松 政則
(満祐のおいの子)

「チャンスだ！
細川どのに
ちからをかって
山名をたおす！」



おれ！
おのれ！



やま な まさとよ
山名 政豊
(持豊の孫)

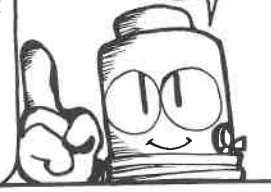


この戦いにより、くしく
赤松政則は
はりま、
みまさか、びぜんの
守護になりました。
とりかえ
したぞ！

一四七八年、
杉原庄は
一六七五帖の杉原紙を
近衛家におさめます。



一四八一年には、
赤松氏が
近衛家の代理人と
なって、
杉原紙二二八〇帖と
その他の紙四八〇帖を
おさめさせます。



しかし
一四八五年、
山名政豊の軍が
とうげをこえて
はりまに侵入！



はりま
すべてを
占領
しました。



山名氏は
松井庄の
東半分を
瑞光寺から
うばいとり
別のひとに
おさめさせ...

安田庄の
「檀紙免田」を
たじまの神社に
あたえました。



だんし
めんでん？
なんだ、それ？

檀紙を荘園の持ち主に
おさめれば、コメを
ねんぐになくていい
田んぼのことさ。



コメは
我々が
もらう。

一四九九年、京

將軍さまの使う杉原紙がなくなってしまったぞ。

すみません！京都じゅうでさがしたんですがみつかりませんでした。ほかの紙を使うしかないですね。

一五二五年ごろ

杉原庄はすでに近衛家の支配をばなれてしまってるだぞ！

秀吉さま！はりまみやげですーっ！

うむっ。

一五九〇年に秀吉は日本のほとんどを手のうちににおさめますが...

庄園も消えてなくなっただよ。

白皮

ハモの

杉原紙

結局は戦国へとうつり、結局はりま地方は、多くの武将や兵や農民がぎせいになつたうえで、豊臣秀吉に支配されることになります。

秀吉亡きあと日本中の大名は豊臣派と徳川派に分かれてあらしい！

14

結局は徳川派が勝つたのだ。

すぎはらがみ おうごんじだい

いよいよ杉原紙の黄金時代がはじまります。

これが、「こへい」だ。

これを神社の人が使うの？

そう、おふだとかごへいとかにな。

むかしはこうそのせんいを織ってつくっていたのだ。

ひらりん

げっし!

そういえば、広峰神社のおふだの紙はみんな杉原紙だって話だな！

あふだいりまが

赤松政則がはりまをとりもどしたのは数年後のことでした。

たよりない守護だ！

有力者たちは赤松氏を見捨て、それぞれ独立し、はりまは分裂します。

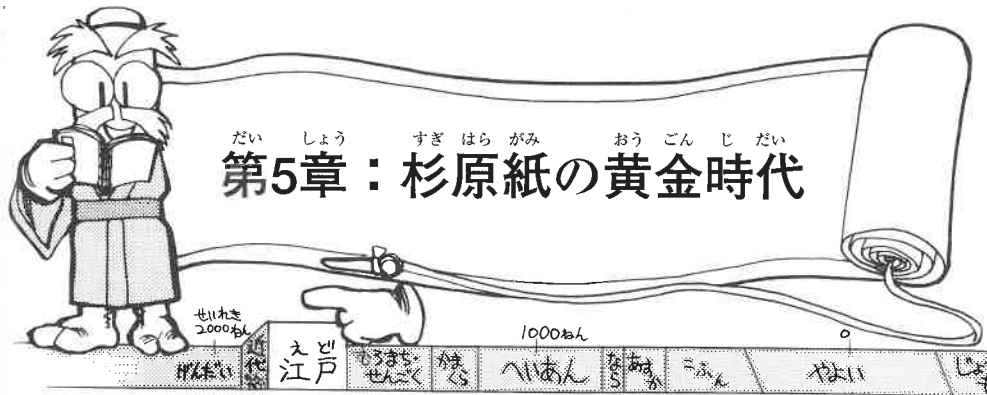
いつぼう紙すきの人々にも変化があらわれます。

ちかごろ世の中がぶっそうだ。

税をおさめる道すじで強盗にあつたらどうするの？

人々は、遠い京にすむ庄園の持ち主へ税をおさめることに疑問を感じはじめていたのです。

第5章：杉原紙の黄金時代



大名には はたらきにおうじて 土地をあたえる。

これを 「藩」とよぶ。

どの藩にどの 大名を置くかは 幕府が決めるが、 その「藩」から おさまられる税は すべて大名のものに してかまわない。

ただし…

ただし江戸のやしきに 妻と子を住まわせ 一年おきに江戸と 藩を往復せよ。

さらに 幕府の命じる 公共工事を 引きうけよ。

3代将軍 徳川 家光

なお、 全国の四分の一、 大きな都市や 港や鉱山は 幕府自体が 支配する 「天領」とする！

ははは

<奉書>… 杉原紙より 大きく厚い紙。 ただし檀紙よりは小さい。

おおかだし 大高檀紙

えちぜん 中奉書

ほんすきはら 本杉原

このさい 将軍の公用紙も 杉原紙から 奉書に変える。

ははは

室町幕府は 足利家自体の 力が弱くてつぶれた。 だが同じあやまちは くりかえさない。

一六〇三年、 将軍となった 徳川家康は、 江戸(いまの東京)に 幕府をひらきました。

二六〇年つづく 江戸時代の はじまりだ！

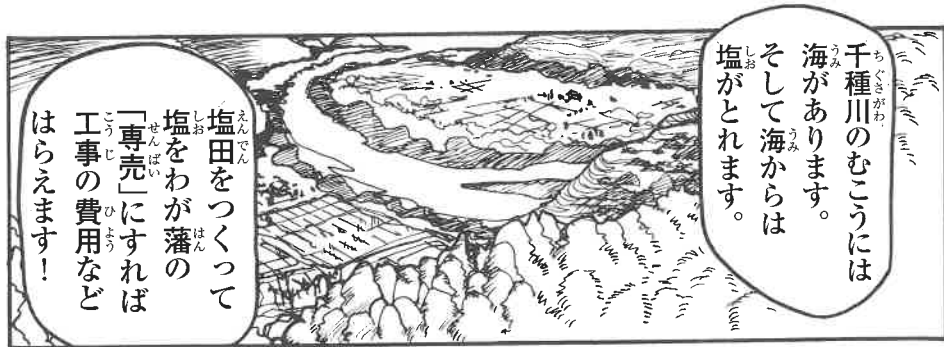
初代 将軍 徳川 家康

江戸城

ページの関係で 省略したが、 この平和な時代を きずきあげるために 私は血のにじむような 苦勞をしてきた…

それは 大名の みなみなも おなじだ。

ははは



千種川のむこうには海があります。そして海からは塩がとれます。

塩田をつくって塩をわが藩の「専売」にすれば工事の費用などはらえます！



「専売」とは— 品物を藩が買いとりひとりにして売りに出すことです。

たいていは安く買いたたかれますけどね。

だからってもんくもいえねえ。

うむっ？



われらの領地はこの赤穂郡だけではありません。

皆田紙の産地の佐用郡皆田も杉原紙の産地の加西郡三原谷もわれらの領土です！

おおっ！



ちなみに皆田紙というのは檀紙の流れをひくぶあつい紙で…

ちよっとまって！

はい？

杉原紙の産地って杉原谷でしょう？



どこが「杉原紙の黄金時代」なんだよ！

あわてない、あわてない。

それでは有名な赤穂事件をとおして杉原紙の歴史をみてみましょう。

赤穂と杉原紙って関係あるの？

じつはあります。

場所は播州(=はりま地方)赤穂藩、時は1645年—



前の藩主のせいで荒れはてた赤穂の地に、かれらは来ました。

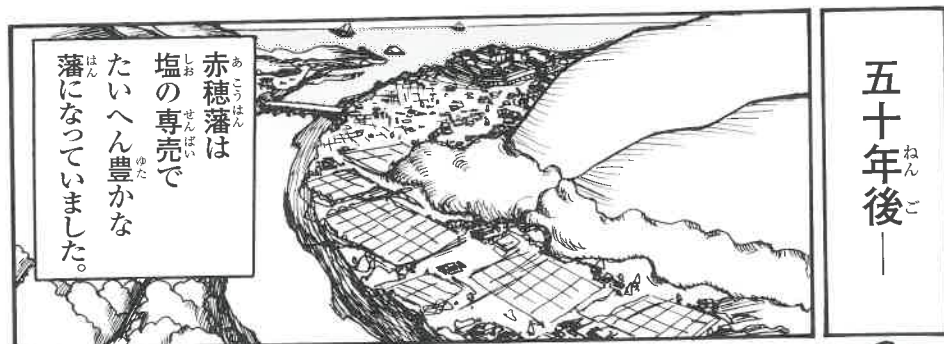
藩主になれたのはありがたいが、幕府は「川に橋をかけ城を建てなせ」と言ってきた。

これでは大赤字だ。

あたらしい藩主 浅野長直

いいえ殿、あちらをごらんください。

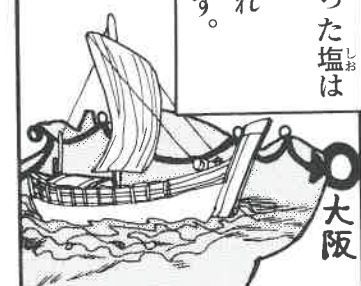
ナンバーワン家老 大石良欽



赤穂藩は
塩の専売で
たいへん豊かな
藩になっていました。

五十年後

できあがった塩は
大阪まで
舟で運ばれ
売られます。



大石 良雄
(良欽の孫)

浅野 長矩
(長直の孫)

塩を売るには
タイミングが
大切です。
ひとがほしが
るときに、大阪に
運ぶのです。

わが藩が豊かなのも
お前のおかげだ。

紙も同じように
運ばれて
売られます。

これで赤穂藩は
大丈夫だと
だれもが思った
そんな時

おおお
おお

江戸時代には
紙の使用量がふえ、
杉原紙の人気の高かったので、
杉原谷以外でも
杉原紙が作られる
ようになったのです。

①那須杉原 ⑧佐次(佐治)杉原
②越後杉原 ⑨吉野杉原 ⑩但馬杉原
③信州杉原 ⑪因幡杉原 ⑫出雲杉原
④美濃杉原 ⑬足守杉原 ⑭備後杉原
⑤加賀杉原 ⑮三好(三次)杉原
⑥越前杉原 ⑯広島杉原 ⑰周防杉原
⑦丹後杉原 ⑱伊予杉原 ⑲阿波杉原
⑳土佐杉原 ㉑豊前杉原 ㉒豊後杉原

あれ？みんな
「なんとか杉原紙」
じゃなくて、
「なんとか杉原」
と、なってるね。

杉原紙は米粉ののり
をゴウソにまぜてすく
のが特徴でした。

「杉原」というだけで
(地名・人名ではなく)
紙のほうを
おもいだすほど、
日本中に杉原紙が
広まっていたから
ですよ。

なめらかにしたのです。
米のりで紙面を白く

三原谷も
杉原紙の本場の
産地といって
いいでしょう。

自分たちの
使う紙を
自分たちの
土地でつくれば
ムダな出費も
おさえられる！



江戸城で
浅野長矩が
吉良義央に
切りつけたのです。



大江戸ニュース!!

浅野長矩(35) ぶげ者
吉良義央(6)

どうしてよ?
それがわかっていないのです。



赤穂城

なんと!!

殿は切腹を命じられた!
理由も聞かれずその日のうちにだ!
なんと!

さらにもこの藩の領地は幕府にとりあげられる。

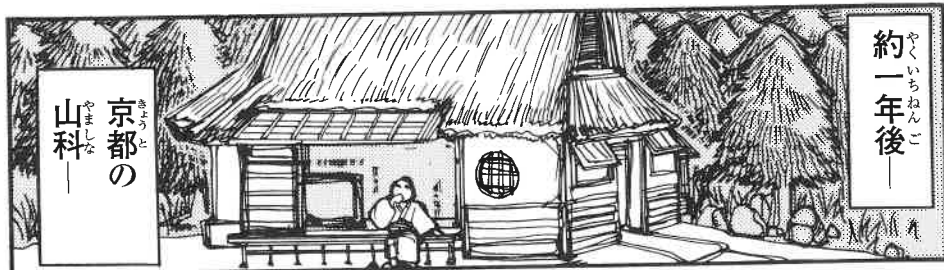
そんなバカな!



浅野の妻から
あずかった
軍資金は
約六九〇両...



祖父の代から
さんざん赤穂のために
つくしてきたのに
このしゅうちはなんだっ!
大石たちは復しゅうを
ちかい、姿をかくします。



約一年後

京都の山科



こういう時に「一束一本」でもおくとくれる親切なひとがいてくれたら...

おひさましませす
一束一本ってなんですか?



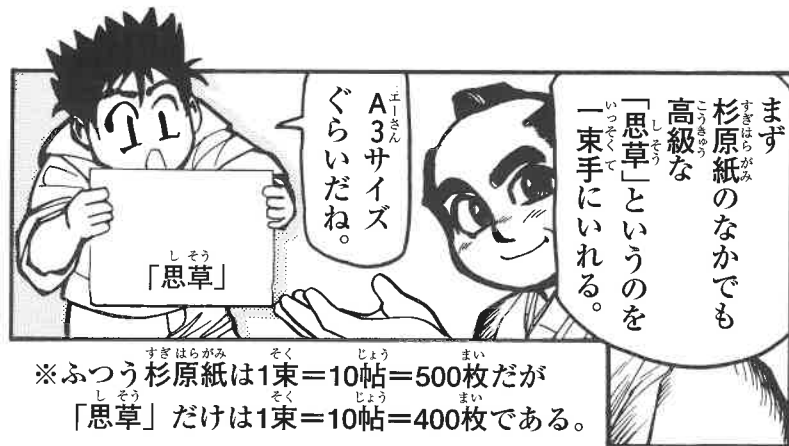
まいったなあ...
紙がなくなってきた...
とはいえ、軍資金に手をつけるわけにはいかないし...



武士社会で紙を贈り物にする時のならわしだよ。

ええ、ぜひ!
作り方を教えてください?

一束一本の作り方



まず
杉原紙のなかでも
高級な
「思草」というのを
一束手にいれる。

A3サイズ
ぐらいだね。

「思草」

※ふつう杉原紙は1束=10帖=500枚だが
「思草」だけは1束=10帖=400枚である。

それを四〇枚ずつ
まとめてふたつにおり
たがいちがいに
かさねる。



それにおうぎを一本
そえて
おくりものにするのだ。

なお「思草」ではなく
超高級な「漉込」をつかえば、
お公家さんへの
おくりものにも
なるのだよ。



これらの
杉原紙は、

江戸の將軍や

京の公家への

けんじょう品
となりました。



これは
1束が
500枚だ。

それに対して
地元はりまで
使われたのは
「久瀬」とよばれる
杉原紙でした。



ちよつとちいさい
B4サイズぐらい。

三原谷が
われらの領地だった
ころはよかった
なあ…



武士には
やはり
杉原紙が
ないと…

大石良雄は
たじまに住んでいる
しゅうと(妻の父)に
手紙をおくります。

そりだ…
しゅうと殿への
手紙で、それとなく
たのんでおこう…



ながなが

杉原紙の値段
その内容が
というと—

さいきんは
浮世絵に使うような
杉原紙がありますが、
そういう上等なのは
必要ありません。

ふつうの杉原紙で
いいから
つごうのいいときに
おくらしてください。

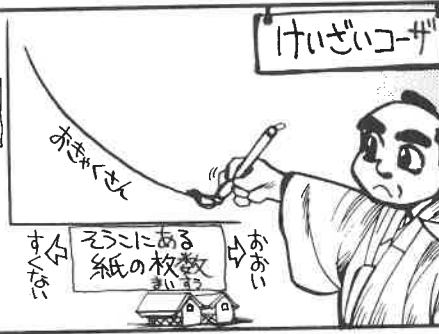
ふつうの杉原紙も
夏と秋には
高くなります。

紙がつくられる
のは、冬なのだ。

農民が田んぼに
かわらなくて
いい季節だな。

そうなん
ですか？

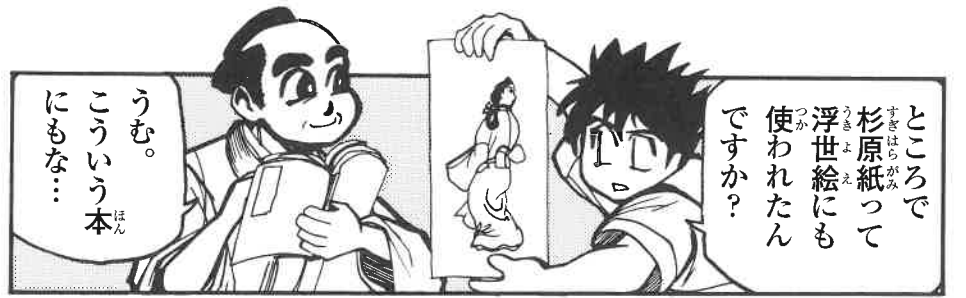
冬と春は紙がだぶついて
値がさがりますが、夏になると
新しい紙がつくられず
品薄になり値があがる。



紙の値段
↑
たかい
↓
やすい

そこの紙の枚数を
すく

そういう
もんですか。

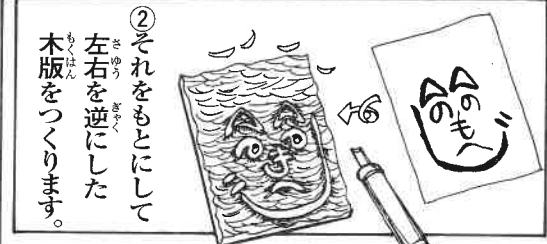


ところで
杉原紙って
浮世絵にも
使われたん
ですか？

うむ。
こういう本
にもな…



・浮世絵のつくりかた
①まず
絵師が
もとになる
絵をかきます。



②それをもとにして
左右を逆にした
木版をつくりまます。



ぬりぬり
手で色を
つけまます。

それを
すって…

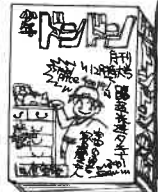
のちに色つけが手ではなく
多色ずりで行われる
ようになると、浮世絵の紙は
杉原紙から奉書にかわります。



木版印刷には
やぶれにくく
柿メのこまかい
杉原紙が
ピッタリなのだ。

うわー
文字ばっかり！

大きさは
まんが週刊誌
みたいなのに…



△B4サイズ

こちらは
サイズも内身も
まんがの単行本
みたいだね♡



△B5サイズ

この
小さなサイズの
本は、
「黄表紙」
といっ
て、
絵入りの
ごらく本です。

杉原紙よりも
うまい紙が
使われました。



一七〇二年
十二月十四日
…

このように
江戸時代には
紙が大量に
消費されました。



大石良雄ら
赤穂の武士
四七名は

吉良邸に討ちいり
吉良義央を
殺害しました。



江戸や大阪の人々は
紙を使った商品を
たのしんでいたのです。



このとき
大石は
軍資金を
すべて使い
はたしていました。

あの世の
殿っ！
みてますかっ！

以上、
有名な
赤穂事件をとおして
杉原紙の使われ方を
見てきました。

ニュースを
おわります



あの世…
なんで
きりつけられたうさに
ころされにや
ならんのだ。

浅野さん

赤穂藩のちに
別の大名が
おさめること
になりました。



三原谷は
天領になりました。



三原谷

お上がどうなろうと
あたしたちには
かんけないよね。



春、夏、秋と
作物をつくって
冬には杉原紙を
すくだけのこと...

あら、
そうでも
ないのよ。



どうして？

天領は
藩よりも税の
かけかたが
あまいのよ。

だいたい
できるおコメの
三割を
おさめればいいの。



三割で
あまいですか？

あまいわよ。
藩だったなら
四割五割は
あたりまえなのよ。

でもどうせ
コメ以外にも
物をおさめ
ないと
いけない
でしょう？
京や江戸にまで
はるばる運ぶって
聞いたけど...



それは
ごくごく
一部の人
だけよ。

宿では
最高級の
部屋に
とまれるし、

えん
大名行列だつて
よけて通る。

おん上り
杉原さま
だー！

けんじょう品にも
使われる杉原紙を、
「はりまおん上り杉原」と
いいました。



えらく
たいぐうが
ちがうじゃ
ないか。



じゃあ
好きなだけ
紙をすいて
売っていいのね。



残念ながら
そうは
いかないのよ...
（この三原谷と
おなじく天領である）
杉原谷では、
これひとつあたり
銀六もんめも
はらっているさうよ。

※銀1もんめ
=小判1両の
50~80分の1の
ねうち。



ほんとうに!?

まさか!
今では
ラブレターにも
使われるほどの
超人気商品
なのよ!

うーん、まさに
黄金時代ね。
ええ...しかし
それは
まもなく終わりを
つげるのです。



ええっ!
いったん
そとへ
出ましよう。
ぐも



昔はこういう
雑木林だったのだよ。
こうぞも
たつぷり
はえていた…

ほんとに？

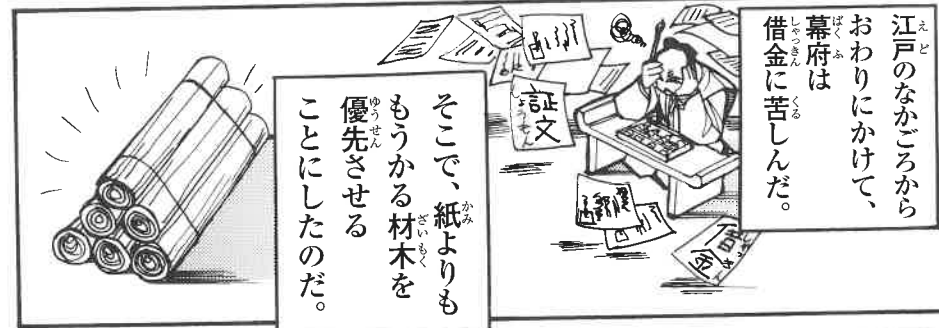
でも、ほとんどの
スギ林は、江戸時代
おわりごろの人々が
植えたつたのです。



借金をかえす
ためじゃ。
どうして…



しかし
スギやヒノキは
下刈をしないと
まっすぐな材木に
ならないのじゃ。



そこで、紙よりも
もうかる材木を
優先させる
ことにしたのだ。

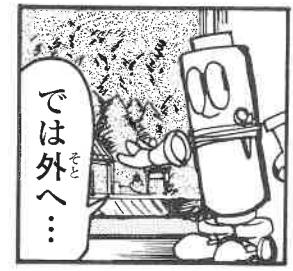
江戸のなかごろから
おわりにかけて、
幕府は
借金に苦しんだ。



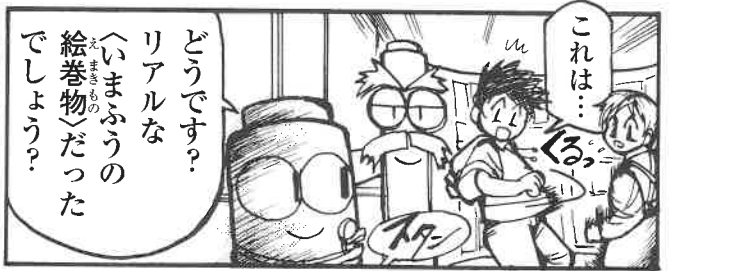
なんでそんな
おえらい幕府が
借金なんか
苦しんでるんだか…

しょうがないわよ！
幕府や京の
おえらいさんへ
けんじようしなきや
ならないんだもの。

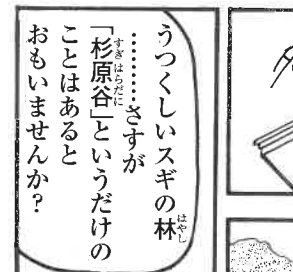
…こまったな。
原料のコウゾを
ほかから買うしか
ないじゃないか。



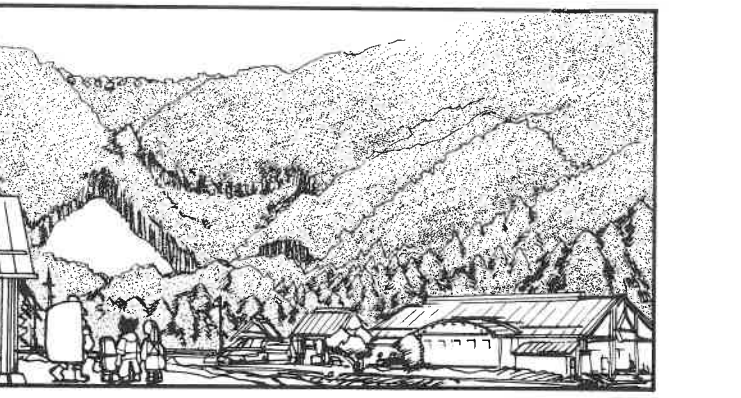
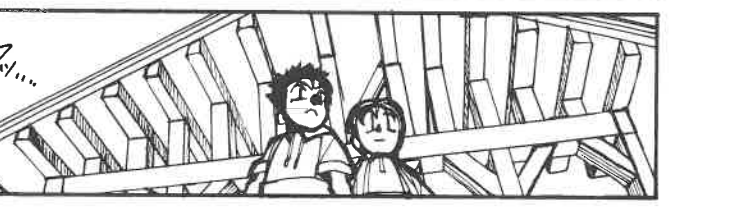
では外へ…



これは…
どうです？
リアルな
へいまふうの
絵巻物だった
でしょう？



うつくしいスギの林
……さすが
「杉原谷」というだけの
ことはあると
おもいませんか？



ええ。

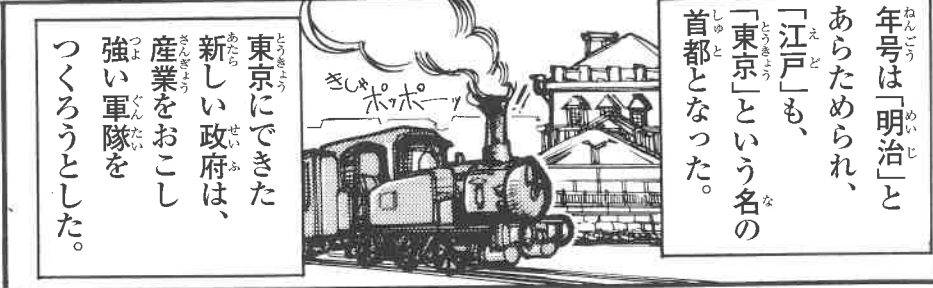


15代将軍
徳川 慶喜

政治をおこなう権利を
朝廷にお返しする。



くずれる
時が来た…



年号は「明治」と
あらためられ、
「江戸」も、
「東京」という名の
首都となった。

東京にできた
新しい政府は、
産業をおこし
強い軍隊を
つくろうとした。



借金に
苦しんだのは
幕府だけでは
なかった…

苦しんで
いたのじゃ。

なんで
そんなに
借金だらけに
なったの？

だからこそ
赤穂藩は
塩を専売にして
現金を手にいれた
んだけどね。



それは幕府も藩も
ねんぐのこめを
おもな収入に
していたからだよ。

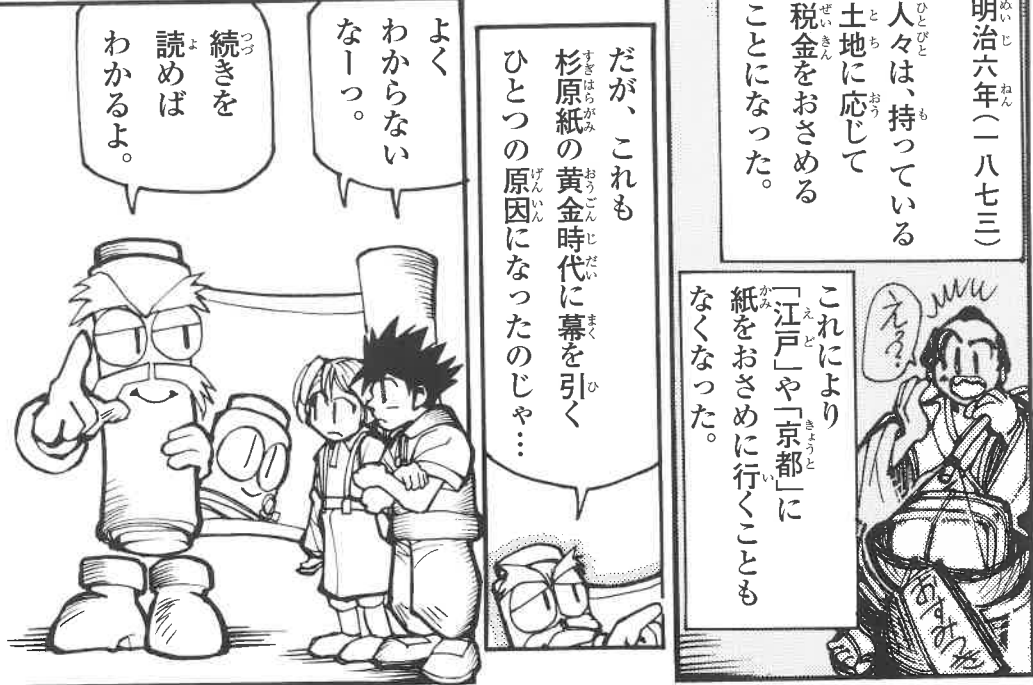
人々がこめ以外の
みりよくある品物を
もとめるようになり、
こめのねうちが
さがっていったのだ。

紙を専売に
する藩も
あったのじゃが…



ノルマが
きつくて
逃げだす
農民も
多く…

こうぞじゃ
なくて
ごはんを
たいてよおし。



明治六年（一八七三）
人々は、持っている
土地に応じて
税金をおさめる
ことになった。

だが、これも
杉原紙の黄金時代に幕を引く
ひとつの原因になったのじゃ…

よく
わからない
な—っ。

続きを
読めば
わかるよ。



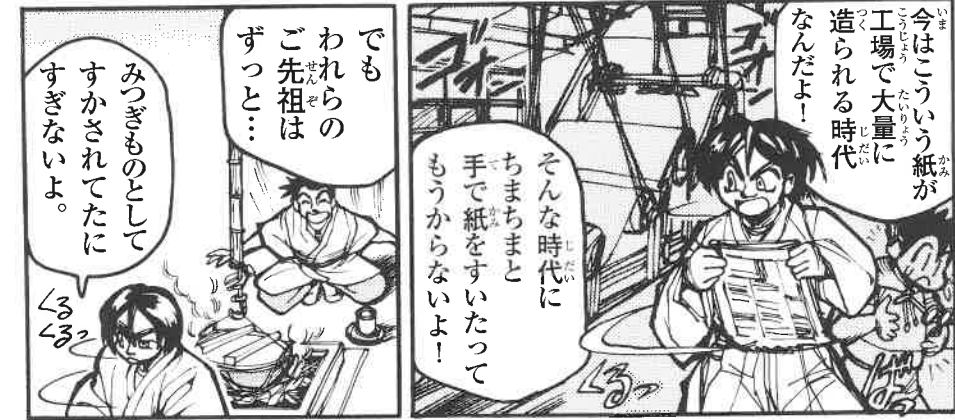
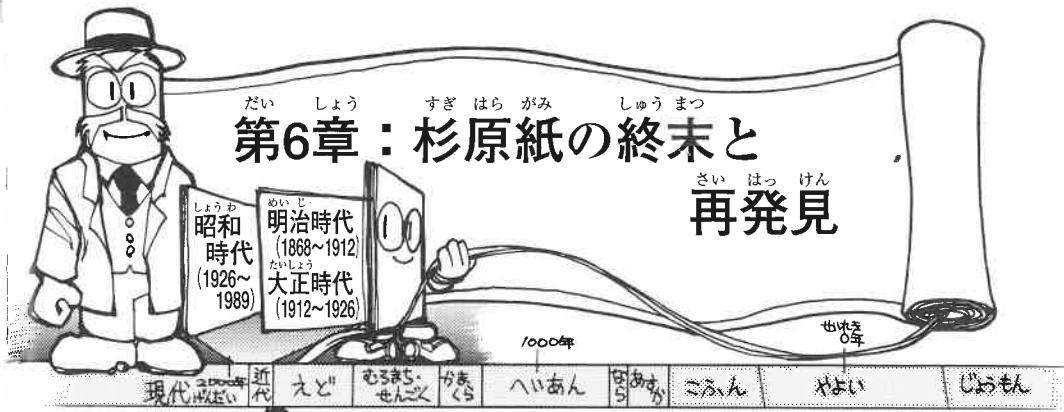
これにより
「江戸」や「京都」に
紙をおさめに行くことも
なくなった。

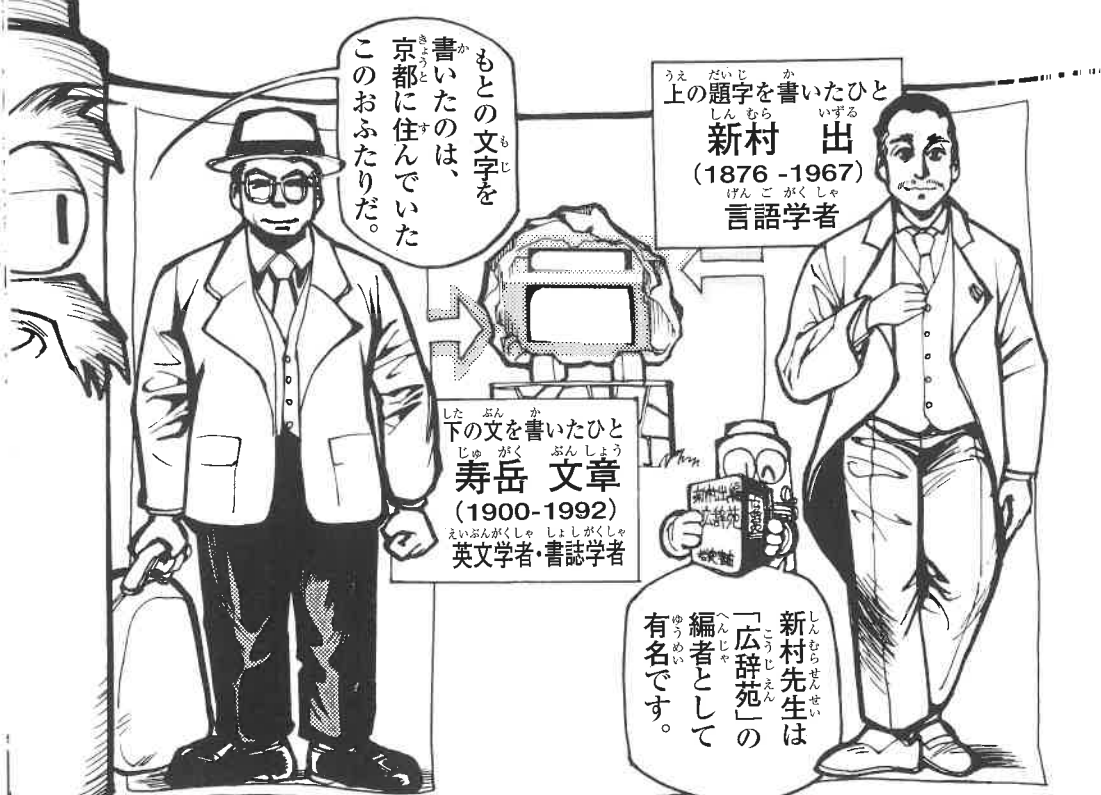


暴動に
およぶことも
あったのじゃ。

農民が税に苦しむ
武士が借金に苦しむ
都市の人々にも貧富の
差がひろがりはじめて
江戸幕府のシステムは
くずれる寸前…

そしてついに
一八六八年—





もとの文字を書いたのは、
京都に住んでいた
このおふたりだ。

上の題字を書いたひと
新村 出
(1876 - 1967)
言語学者

下の文を書いたひと
寿岳 文章
(1900 - 1992)
英文学者・書誌学者

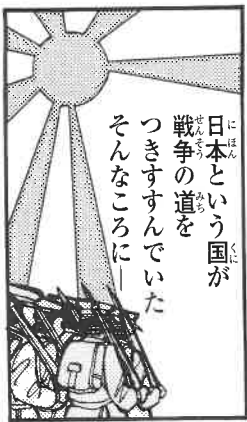
新村先生は
「広辞苑」の
編者として
有名です。



私も行きたかった
のだけど、
なにせ
年なもんで…



寿岳先生は、
一九三七年から
一九四〇年にかけて
全国の紙すき村へ
調査に出かけます。



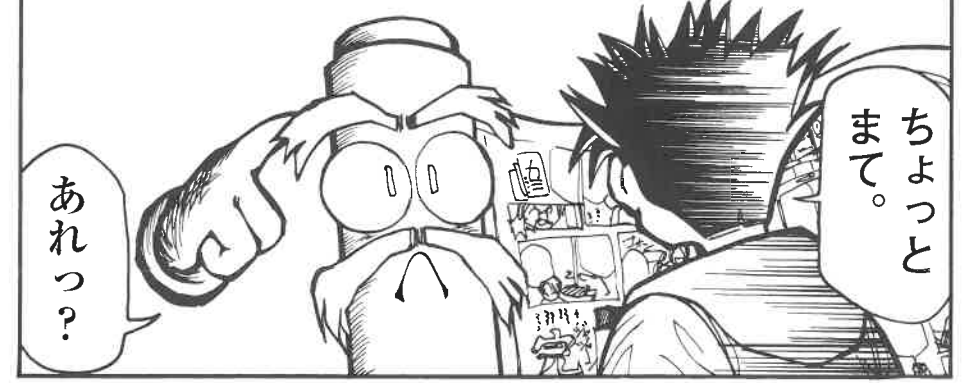
さて、昭和十五年(一九四〇)
八月二日

日本という国が
戦争の道を
つぎすすんでいた
そんなころに



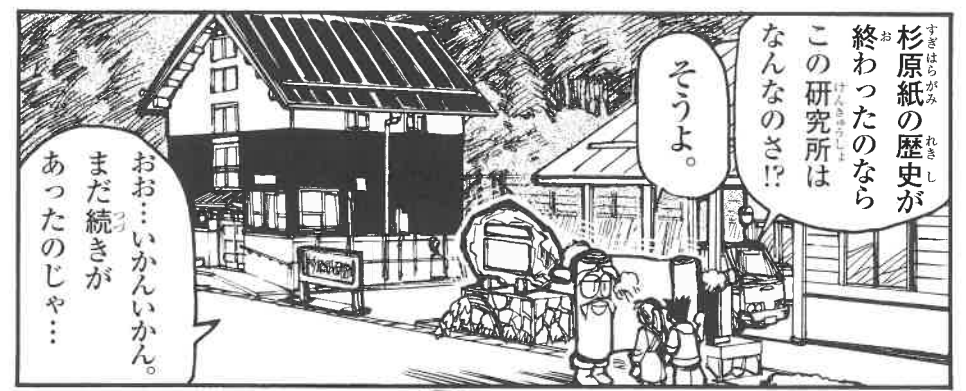
「紙漉村旅日記」
というタイトルです。

この調査の結果は
のちに一冊の本に
まとめられます。



あれっ？

ちよっと
まて。



杉原紙の歴史が
終わったのなら
この研究所は
なんなのさ!?

そうよ。

おお…いかにかん。
まだ続きが
あったのじゃ…



地之祥発紙原杉
………?



いや…
これは
右から
読むのじゃ

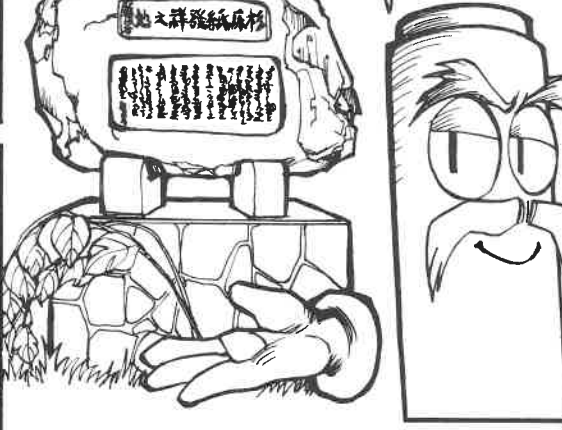


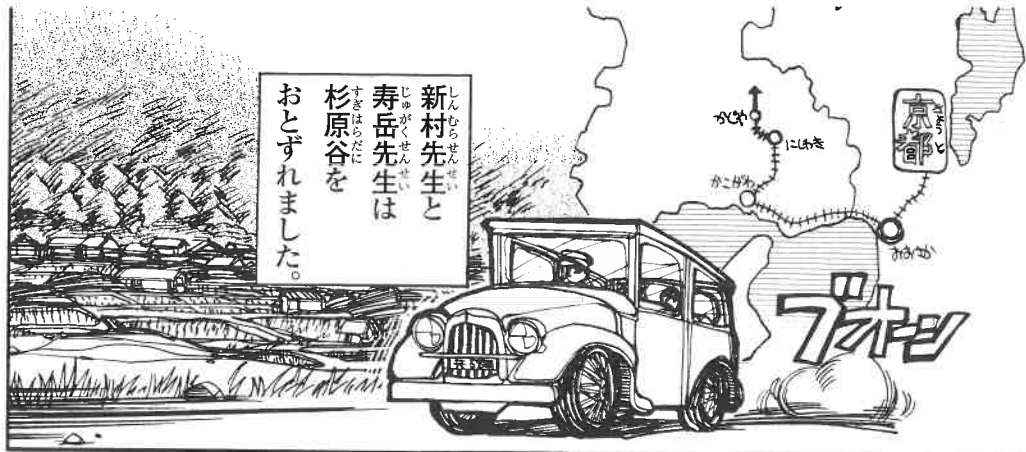
ここ杉原谷が
杉原紙のルーツ
だという
記念碑じゃよ。

「杉原紙
発祥之地」



この
記念碑に
まつわる
物語が…





京都にもどった
寿岳先生は、
この旅行をもとにして
「杉原谷紀行」を
書きました。

これはのちに
「紙漉村旅日記」に
おさめられます。

一方、新村先生は
「杉原紙源流考」で
数々の史料を
紹介しました。



これらによって、
杉原谷が、天下の名紙
「杉原紙」のはじまりの地で
あることが明らかに
なったのです。

：わたしも
寿岳先生や
新村先生のように
杉原紙について
書いてみようかな…



昭和二十年
(一九四五)
八月十五日

戦争が
終わりました。



戦争のせいで
紙すき村も
荒れていたが、
これで
和紙も
よみがえる
ことだろう。

ところが、そうはならなかったのです。

高度成長

和紙なんか
つくってたつて
もうからんよ。



しかし…



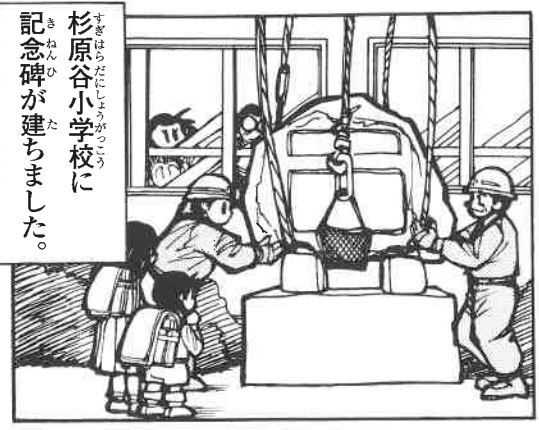
このまま
つきすすんで
いいのだろうか…？

戦争が終わって
二十一年後の
一九六六年



この文字を
書いたのが、
新村先生と

寿岳先生で
あることは、
さきほどのべた
とおりです。



杉原谷小学校に
記念碑が建ちました。

しかし…



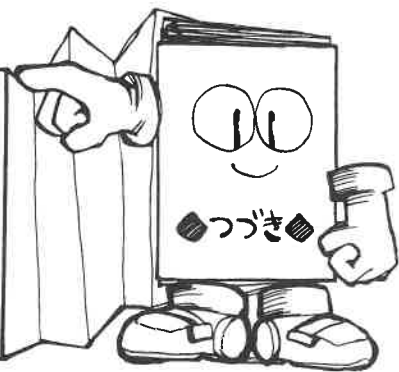
かんじんの
杉原紙そのものが
もう無いというのは
さびしすぎる。

あれからずっと、私は
杉原紙の歴史を
本にしようとしてきたが
いまだ完成していない。



杉原紙は、
このまま
「天下の名紙」の名が
残るだけの
だろうか…





エピソード..

真の黄金時代へ



記念碑が建てられて四年後の、

一九七〇年

ついに杉原紙が復元されました。

うたかやのすけ 宇高弥之助さん

紙をすくのは半世紀ぶりです。

同じ年、藤田貞雄先生は杉原紙についての本を完成させました。



おめでとう

とうとうできた!

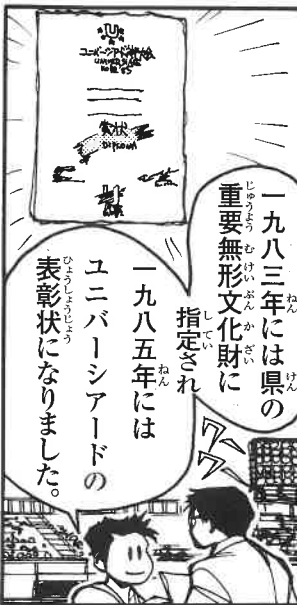
あの日から三十年!

一九七二年には杉原紙研究所がひらかれました。



一九八三年には県の重要無形文化財に指定され

一九八五年にはユニバーシアードの表彰状になりました。



わたしもおいわけにかけつけました。

記念碑もひっこしました。

じゅがくぶんしょう 寿岳文章

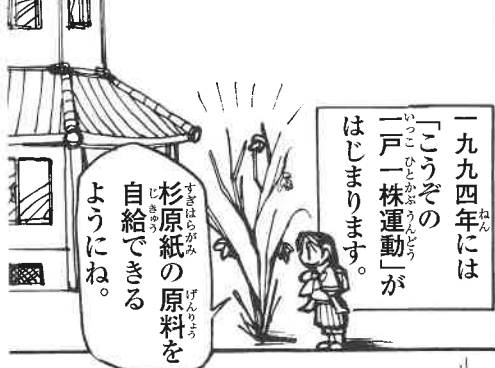


一九八七年には杉原谷小学校の校庭に「春蘭の家」が建ちました。

このなかでオリジナルの卒業証書をすいたりします。

一九九四年には「こうぞの」一戸一株運動がはじまります。

杉原紙の原料を自給できるようにね。



そして一九九六年、

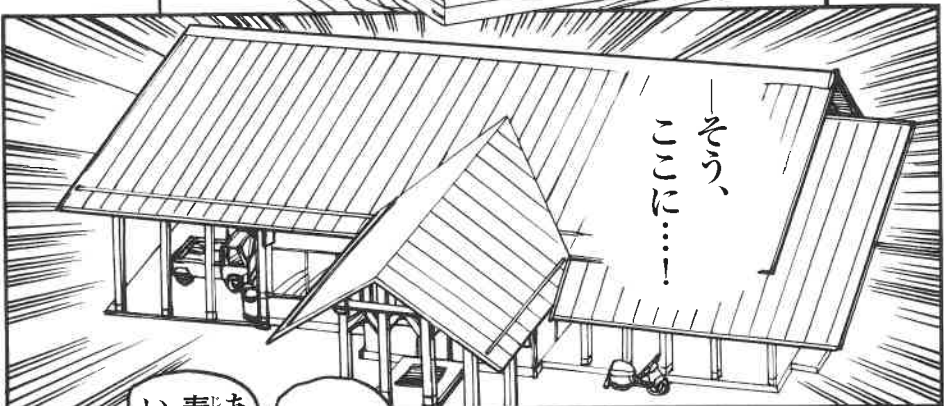
道の駅の建設に

ともなって、研究所は東にひっこします。

みちのえき



そう、ここに...!



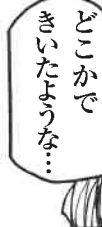
...で、ですね、その際、この方に名誉館長をお願いしたのです。

こんにちは。

国文学者の寿岳章子です。

あれ? 寿岳さんというと

どこかで聞いたような...





でもねー

残念だわ。

このころ(戦時中) 杉原紙は 減んでいたので…

…でも、杉原紙は 貼りこまれて いないんだよね。



ええ！

それって すごいのか？



減んでしまった 紙すき村はいっぱいあるし、 細々とすきつづけている 紙すき村も少しはある けど…



ひよつとしたら 今こそが 本当の黄金時代 なのかもーっ!!

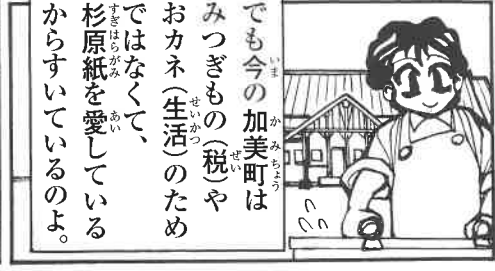
そんなに りきまなくても いいわよ。

自然にね。

そうね。



…たしかに今は 杉原紙にとつて 江戸時代のような 黄金時代ではないわ。



でも今の加美町は みつぎもの(税)や おカネ(生活)のため ではなくて、 杉原紙を愛しているのよ。



さて、 そろそろ この 「まんが版 杉原紙の 歴史」は 終わりの ページを 迎えます がー



寿岳文章の娘です。

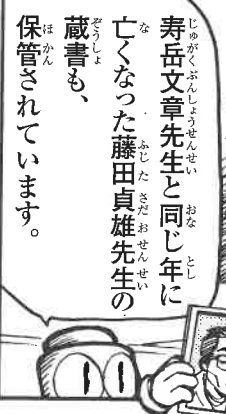
ああなるほど…

父は一九九二年に亡くなりました。

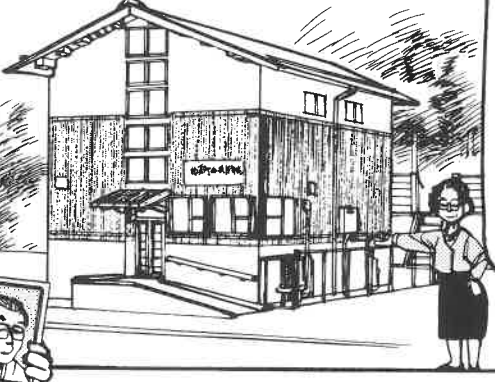
向日庵と

私は、父の蔵書を父と縁の深かった加美町におゆすりしたのです。

名譽館長の職を受けたのをきっかけにしてね。



寿岳文章先生と同じ年に亡くなった藤田貞雄先生の蔵書も、保管されています。



それら二百冊あまりの本は、二〇〇四年四月にオープンした和紙博物館「寿岳文庫」に保管されているわ。

加美町和紙博物館



「紙漉村旅日記」ね。

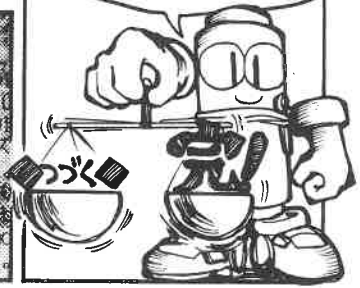
なんだか 見おぼえのある 展示があるね。

あ…これ…

ああ…

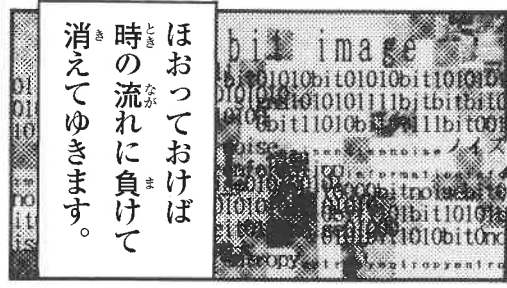
家族で手作りした本よ。 本文用紙は和紙で、全国の和紙見本も 貼りこまれているの。

じつさいの
「杉原紙の歴史」が、
「完！」になるか
「つづく」になるかは、
みなさんしだいです。



杉原紙を愛し、
大切にし、みんなで
使っていけば
「つづく」になるし、

どちらの未来を選ぶかは――



ほおっておけば
時の流れに負けて
消えてゆきます。

いまふうの絵巻物を
読みおえた
あなたたちに――



そしてこの本を
読んでくださった
みなさんに――

――ゆだねられているのです。



●まんが版 杉原紙の歴史●

—加美町郷土学習教材—

2000年7月発行

発行 加美町
(総合調整課)
〒679-1292 兵庫県多可郡加美町豊部240
TEL0795-35-0080

企画 加美ふるさと塾

まんが制作 ひろさわ しげあき

監修 久米康生 (和紙文化研究会代表)
三和田安雄 (滝川高校教諭)

印刷 ウニスガ印刷株式会社